

8-4-2 植物

工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤード及び工事用道路の設置）及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在により、対象事業実施区域及びその周囲で、重要な種及び注目すべき生育地への影響のおそれがあることから、環境影響評価を行った。

(1) 調査

1) 調査すべき項目

ア. 高等植物に係る植物相及び植生の状況

調査項目は、高等植物に係る植物相及び植生の状況とした。

イ. 高等植物に係る重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況

調査項目は、高等植物に係る重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況とした。

2) 調査の基本的な手法

ア. 高等植物に係る植物相及び植生の状況

文献調査により、地域に生育する高等植物関連の文献、資料を収集し整理した。なお、必要に応じて専門家へのヒアリングを行った。

現地調査の方法を表 8-4-2-1 に示す。

表 8-4-2-1 高等植物の調査方法

調査項目	調査方法	
高等植物に係る植物相	任意確認	調査地域内を任意に踏査し、確認された種を記録した。調査の対象はシダ植物以上の高等植物とし、現地での同定が困難な種は標本を持ち帰り、室内で同定を行った。
高等植物に係る植生	コドラート法	植生や土地の利用の状況によって区分された植物群落について、方形枠（コドラート）を設定し、植生の状況を調査した。調査した植生はブランク法により、その特徴の把握を行った。

イ. 高等植物に係る重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況

生育が確認された高等植物に係る種及び分布が確認された群落の内、表 8-4-2-2 に示す基準に該当するものを高等植物に係る重要な種及び群落として選定した。

表 8-4-2-2 高等植物に係る重要な種及び群落の選定基準

番号	文献及び法令名	区分
①	文化財保護法（昭和 25 年、法律第 214 号）	特天：特別天然記念物 天：天然記念物
②	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年、法律第 75 号）	国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
③	岐阜県文化財保護条例（昭和 29 年、岐阜県条例第 37 号）	県天：県指定天然記念物
④	岐阜県希少野生動植物種保護条例（平成 15 年、岐阜県条例第 22 号）	○：指定希少野生動植物
⑤	中津川市文化財保護条例（昭和 51 年、中津川市条例第 42 号） 恵那市文化財保護条例（平成 16 年、恵那市条例第 215 号） 瑞浪市文化財保護条例（昭和 51 年、瑞浪市条例第 39 号） 御嵩町文化財保護に関する条例（昭和 51 年、御嵩町条例第 9 号） 可児市文化財保護に関する条例（昭和 30 年、可児市条例第 27 号） 多治見市文化財保護条例（昭和 52 年、多治見市条例第 29 号）	市天：市指定天然記念物 町天：町指定天然記念物
⑥	御嵩町希少野生生物保護条例（平成 18 年、御嵩町条例第 17 号）	○：指定希少野生生物
⑦	環境省第 4 次レッドリスト 植物 I（維管束植物）（平成 24 年、環境省）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
⑧	岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物－岐阜県レッドデータブック（平成 13 年、岐阜県）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 I 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
⑨	御嵩町版レッドデータブック：御嵩町の絶滅のおそれのある野生生物 2007（鳥類、蝶類、植物、魚類・貝類編）（平成 19 年、御嵩町）	○：掲載種
⑩	植物群落レッドデータ・ブック（平成 8 年、我が国における保護上重要な植物種及び植物群落研究委員会植物群落分科会）	1：要注意 2：破壊の危惧 3：対策必要 4：緊急に対策必要
⑪	自然環境保全法（昭和 47 年、法律第 85 号） 岐阜県自然環境保全条例（昭和 47 年、岐阜県条例第 17 号） 第 2 回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）（昭和 55 年、環境庁） 第 3 回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 II 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）（昭和 63 年、環境庁） 第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書（平成 12 年、環境庁）	指定：指定されている特定植物群落
⑫	専門家の助言により選定した種	○：指摘種

3) 調査地域

対象事業実施区域及びその周囲の内、山岳トンネル、非常口（山岳部）、地表式又は掘割式、高架橋・橋梁、地上駅、車両基地、換気施設、変電施設を対象に工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置）又は鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在に係る植物への影響が生じるおそれがあると認められる地域とした。

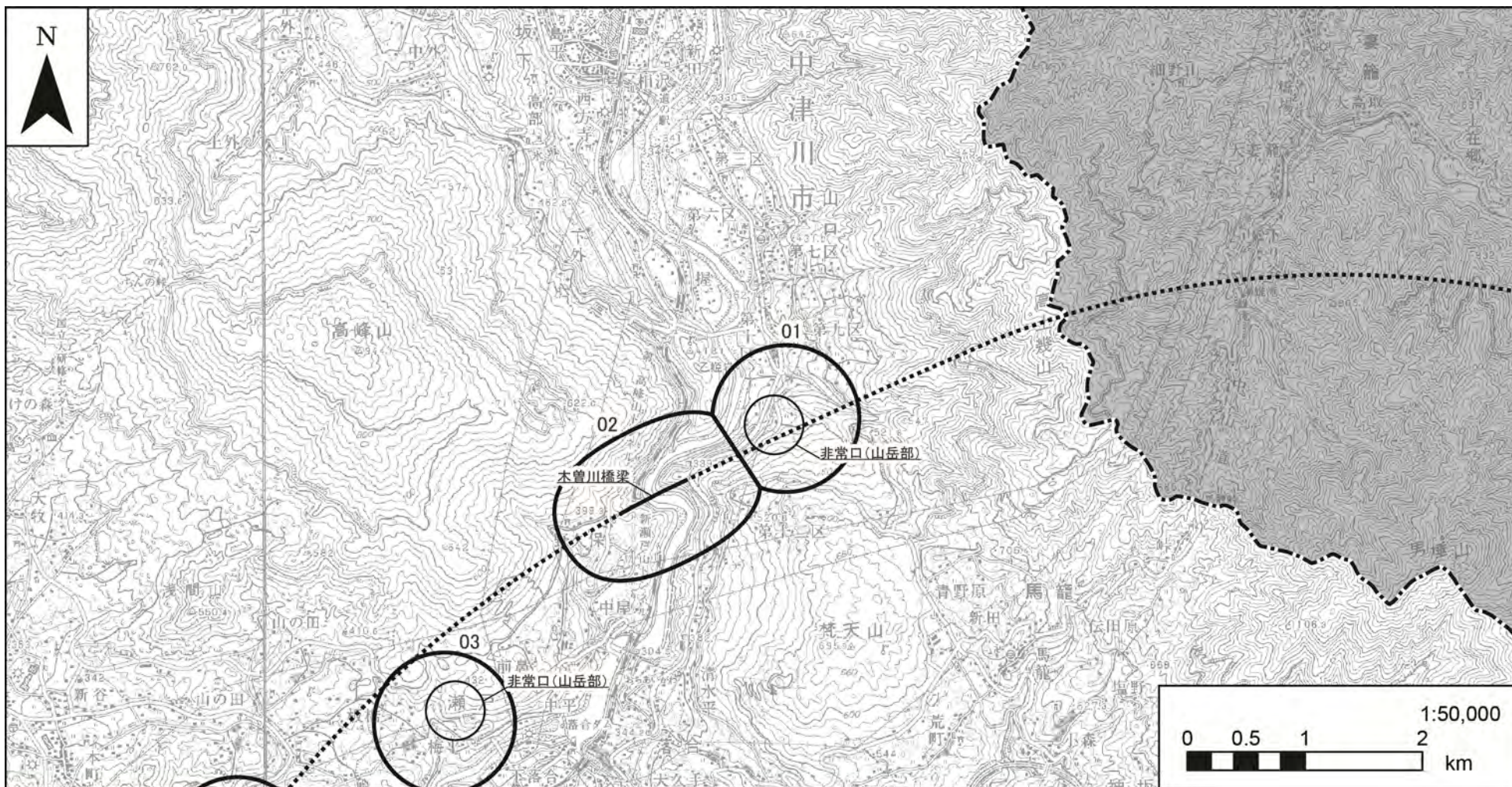
4) 調査地点

高等植物は、調査地域の内、自然環境の状況及び利用状況等を考慮し、植物の生育環境を適切に把握することができる範囲とした。調査範囲は、土地改変区域から概ね 600m の範囲に設定した。

調査範囲を、表 8-4-2-3 及び図 8-4-2-1 に示す。

表 8-4-2-3 調査地域の概要

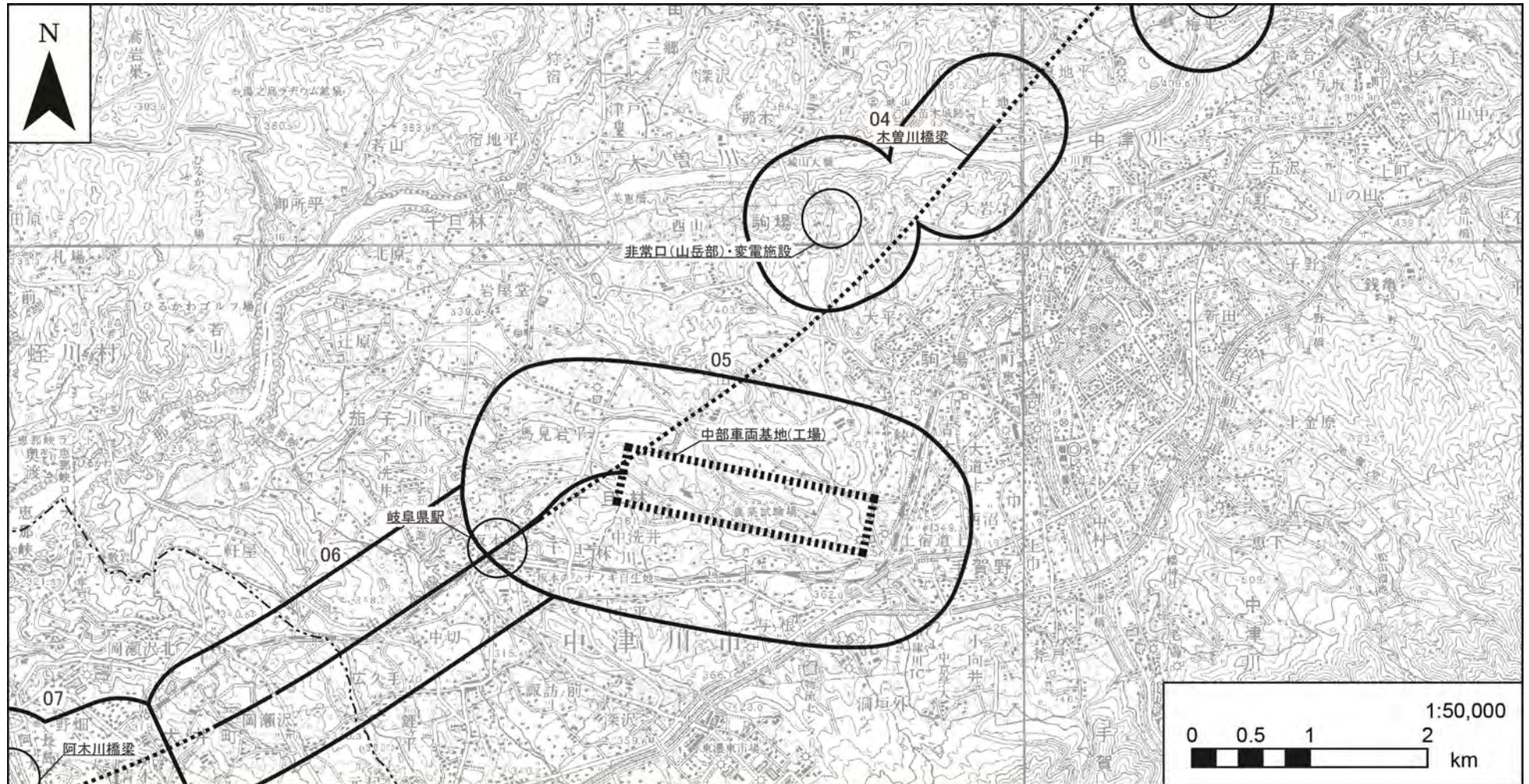
地域番号	市町村名	地域名称	鉄道施設
01	中津川市	山口地区	山岳トンネル、非常口（山岳部）
02		山口・瀬戸地区	山岳トンネル、地表式又は掘割式、橋梁
03		瀬戸地区	非常口（山岳部）
04		瀬戸・駒場地区	山岳トンネル、非常口（山岳部）、橋梁、変電施設
05		千旦林地区	山岳トンネル、高架橋、地上駅、車両基地
06	中津川市 恵那市	茄子川地区 大井町地区	山岳トンネル、地表式又は掘割式、高架橋、地上駅
07	恵那市	大井町・長島町地区	山岳トンネル、非常口（山岳部）、地表式又は掘割式、橋梁
08		武並町藤地区	山岳トンネル、地表式又は掘割式、高架橋
09	瑞浪市	日吉町地区	非常口（山岳部）
10	御嵩町	美佐野地区	山岳トンネル、高架橋
11	可児市	久々利地区	山岳トンネル、非常口（山岳部）、地表式又は掘割式、高架橋
12		大森地区	非常口（山岳部）、換気施設
13	多治見市	西山町・大針町地区	非常口（山岳部）、換気施設、変電施設



凡例

- 計画路線（トンネル部）
- 計画路線（地上部）
- - - 県境
- · - · 市区町村境
- 動植物調査地域

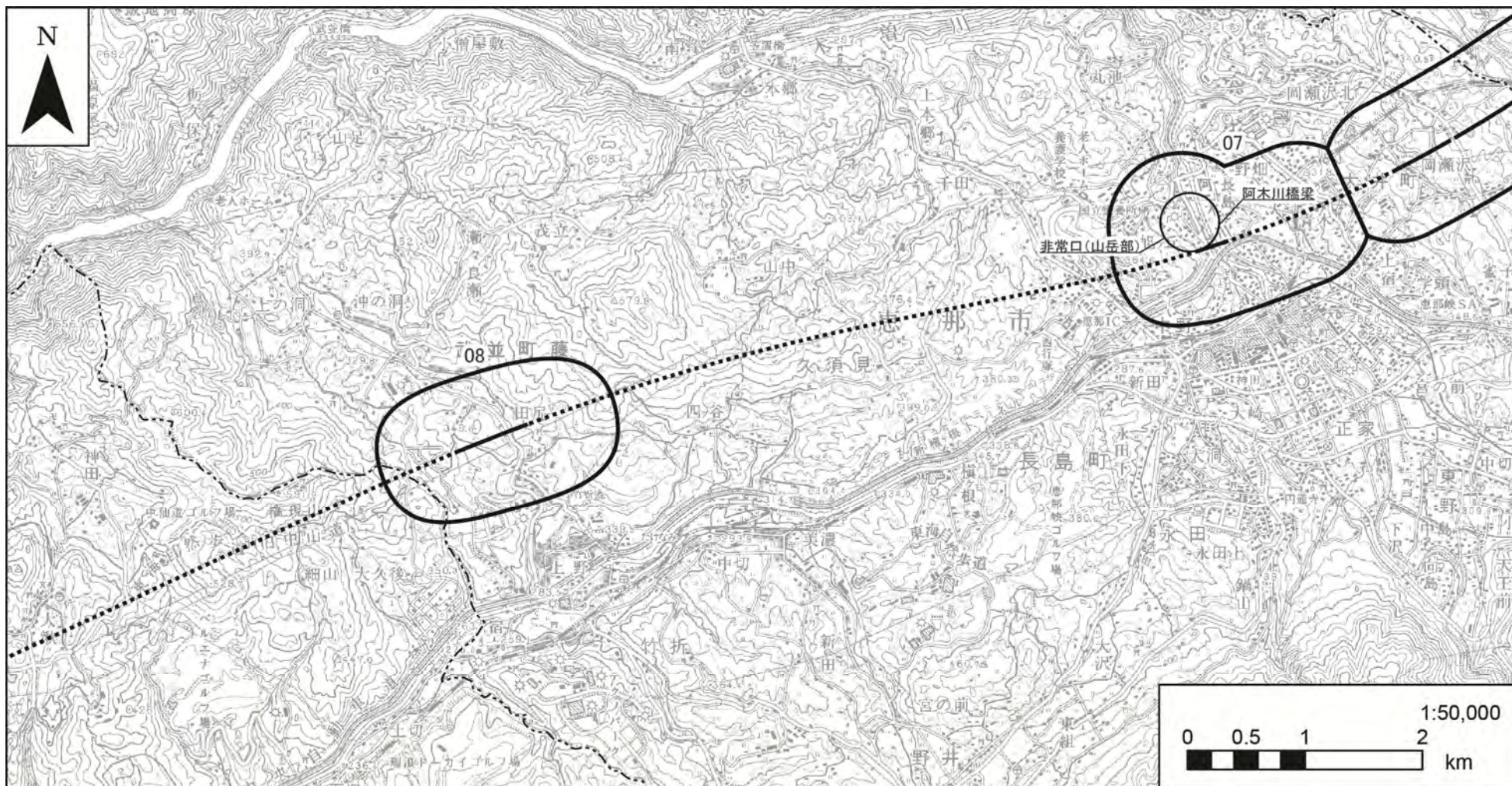
図 8-4-2-1(1) 調査範囲図



凡例

- 計画路線 (トンネル部) ○ 動植物調査地域
- 計画路線 (地上部)
- - - 県境
- - - 市区町村境

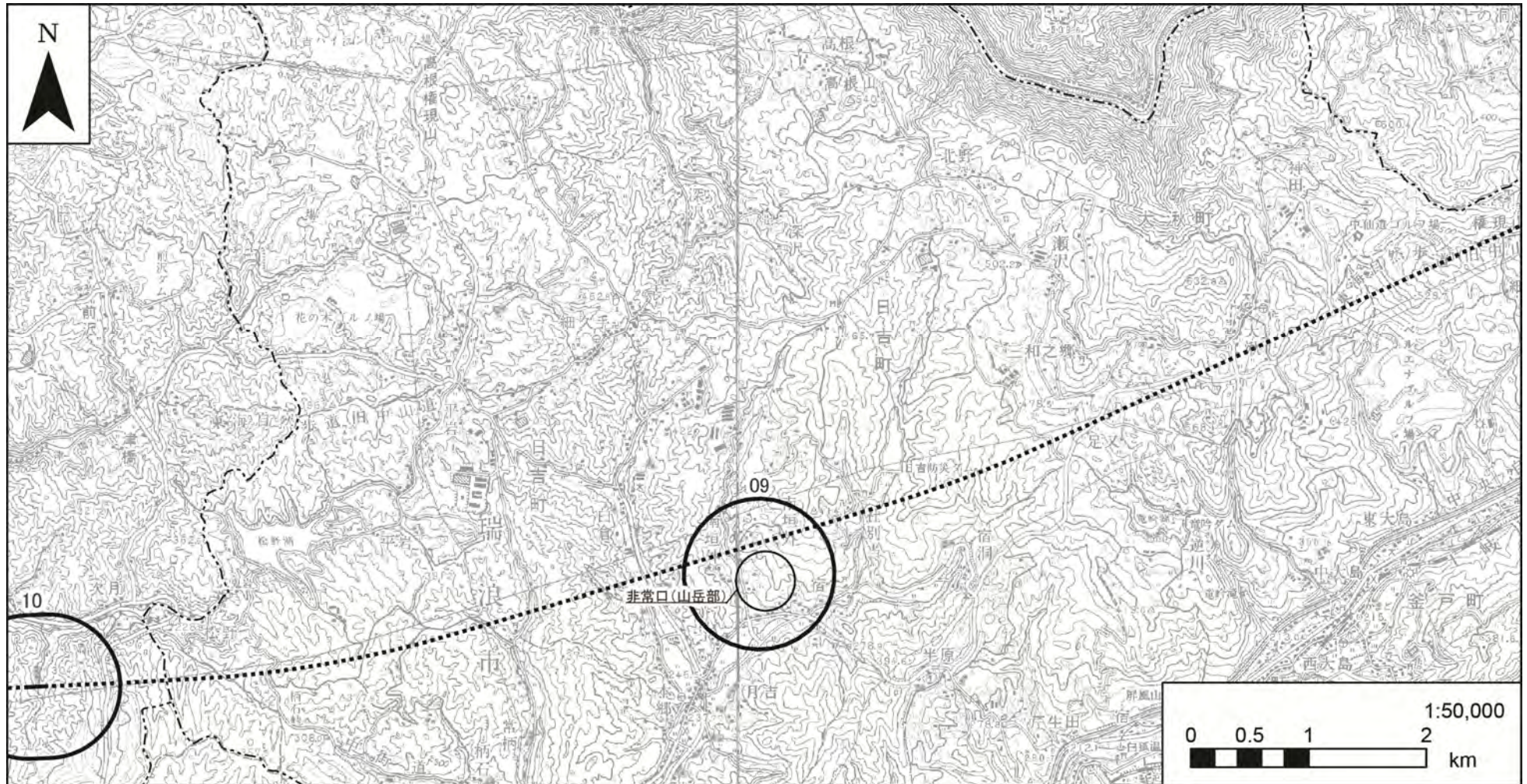
図 8-4-2-1(2) 調査範囲図



凡例

- 計画路線（トンネル部）
- 計画路線（地上部）
- - - 県境
- · - · 市区町村境
- 動植物調査地域

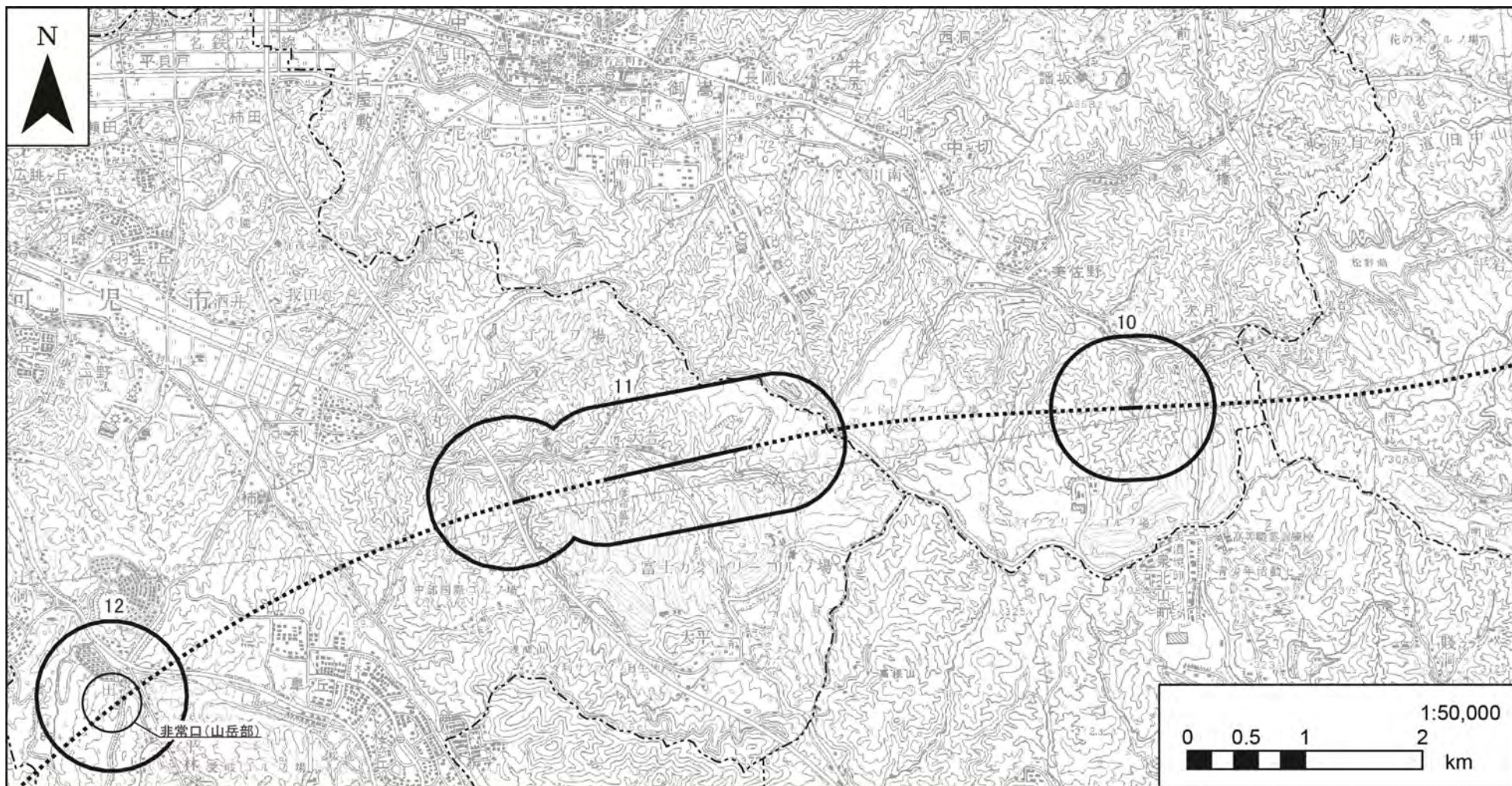
図 8-4-2-1(3) 調査範囲図



凡例

- 計画路線 (トンネル部) ○ 動植物調査地域
- 計画路線 (地上部)
- - - 県境
- · - 市区町村境

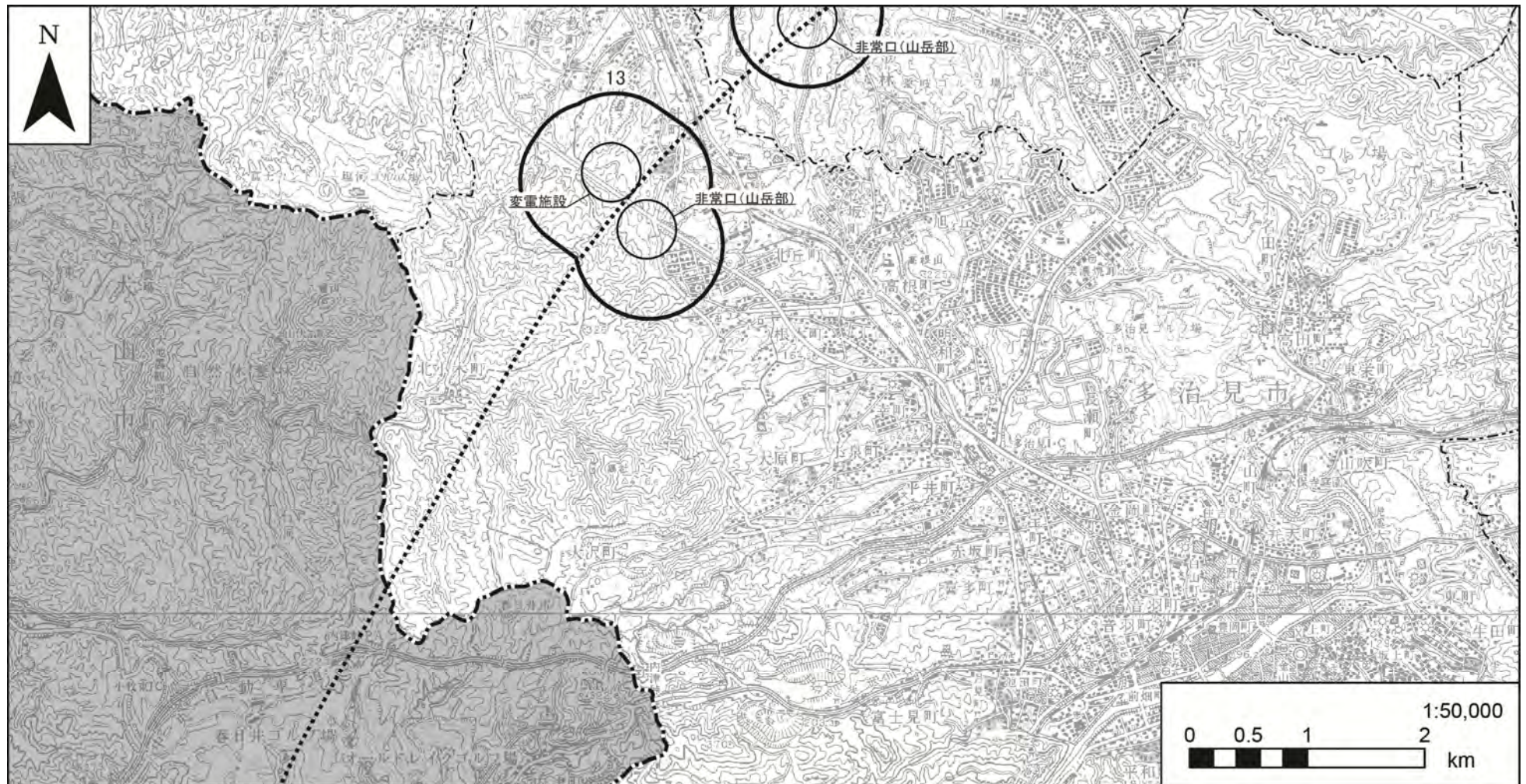
図 8-4-2-1(4) 調査範囲図



凡例

- 計画路線（トンネル部） ○ 動植物調査地域
- 計画路線（地上部）
- - - 県境
- · - · 市区町村境

図 8-4-2-1(5) 調査範囲図



凡例

- 計画路線 (トンネル部) ○ 動植物調査地域
- 計画路線 (地上部)
- - - 県境
- · - · 市区町村境

図 8-4-2-1(6) 調査範囲図

5) 調査期間等

現地調査は、表 8-4-2-4 に示す時期に実施した。

表 8-4-2-4 調査期間等

調査項目	調査実施日	
高等植物に係る植物相	早春季	平成 24 年 4 月 3 日～6 日、9 日～13 日 平成 25 年 4 月 2 日、15 日～16 日
	春季	平成 24 年 5 月 7 日～12 日、5 月 28 日～6 月 1 日 平成 25 年 5 月 10 日、15 日
	夏季	平成 24 年 7 月 11 日～14 日、17 日～18 日、27 日～28 日
	秋季	平成 24 年 9 月 24 日～27 日、10 月 1 日～6 日、8 日
高等植物に係る植生	夏季	平成 24 年 8 月 1 日～4 日、6 日～9 日
	秋季	平成 24 年 10 月 9 日～13 日、15 日～16 日、11 月 19 日～22 日

6) 調査結果

ア. 高等植物に係る植物相

7) 高等植物に係る植物相の状況

現地調査において 159 科 1,407 種の高等植物が確認された。現地調査の結果を表 8-4-2-5 に示す。

表 8-4-2-5 高等植物に係る植物相の現地調査結果

分類	調査時期											
	早春季		春季		夏季		秋季		合計			
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数		
シダ植物	18	70	20	100	21	99	21	115	21	128		
種子植物	裸子植物		5	11	6	10	6	12	6	11	6	12
	被子植物	双子葉植物	49	198	71	408	76	452	77	441	79	565
		離弁花類 合弁花類	22	86	28	202	31	248	32	258	33	334
	単子葉植物		11	66	15	202	19	243	19	245	20	368
合計		105	431	140	922	153	1,054	155	1,070	159	1,407	

注 1. 分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査 植物目録 1987」環境庁（1987）に準拠した。

調査地域の主な生育環境は、雑木林、植林等の樹林や草地、木曾川水系、庄内川（土岐川）水系に広がる水辺、水田、畑地等の耕作地及び市街地が挙げられる。

現地調査の結果概要を表 8-4-2-6 に示す。

表 8-4-2-6 高等植物に係る植物相現地調査結果の概要

主な生育環境	主な確認種
樹林	コナラ、アベマキ、スギ、ヒノキ、ヒサカキ、イヌツゲ、ヤブツバキ、ベニシダ、ヤマウルシ、コウヤボウキ
草地	チガヤ、ススキ、セイタカアワダチソウ、メルケンカルカヤ、メヒシバ、ヨモギ、クズ、カナムグラ、ヒヨドリバナ、コジキイチゴ
水辺	イヌコリヤナギ、ツルヨシ、オギ、ミゾソバ、イトイヌノヒゲ、ヌマガヤ、イタドリ、セリ、ガマ、イ
耕作地	コナギ、ヒナガヤツリ、ザクロソウ、スベリヒユ、ホトケノザ、ハナイバナ、コシキソウ、タネツケバナ、トキンソウ、ウリクサ
市街地	ソメイヨシノ、コナギ、ヒメムカシヨモギ、セイヨウタンポポ、ヒメジヨン、アレチヌスビトハギ、イヌタデ、エノコログサ、セイタカアワダチソウ、ヨモギ

イ) 高等植物に係る重要な種の確認状況

文献調査及び現地調査により確認された高等植物に係る重要な種は、74科222種であった。文献及び現地で確認された高等植物に係る重要な種とその選定基準を表8-4-2-7に示す。

表 8-4-2-7 (1) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準										
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
1	ヒカゲノカズラ	ミズスギ	○										VU		
2		スギラン	○									VU			
3		ヤチスギラン	○	○									VU		
4		マンネンスギ	○	○							○			○	
5	イワヒバ	イヌカタヒバ	○									VU			
6	ミズニラ	ミズニラ	○									NT	VU		
7	トクサ	チシマヒメドクサ	○									CR			
8	コバノイシカグマ	ヒメムカゴシダ	○									EN	CR+EN		
9	ミズワラビ	クジャクシダ	○								○			○	
10	チャセンシダ	カミガモシダ	○	○									NT		
11		オクタマシダ	○										VU		
12		イチョウシダ	○										NT	NT	
13	シシガシラ	ミヤマシシガシラ	○										NT		
14	メシダ	テバコワラビ	○										VU		
15		イワヤシダ	○										NT		
16		イヨクジャク	○										EN	VU	
17	ウラボシ	クラガリシダ	○										EN	CR+EN	
18	ヒメウラボシ	オオクボシダ	○										NT		
19	デンジソウ	デンジソウ	○										VU	CR+EN	
20	サンショウモ	サンショウモ	○										VU	CR+EN	

表 8-4-2-7 (2) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準									
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
21	アカウキクサ	オオアカウキクサ	○									EN		
22	ヤマモモ	ヤマモモ	○									DD		
23	カバノキ	サクラバハンノキ	○	○						○		NT	NT	○
24		ツノハシバミ	○	○						○				○
25	ブナ	イヌブナ	○	○						○				○
26	タデ	サイコクヌカボ		○								VU		
27		ヤナギヌカボ	○	○								VU	DD	
28		ナガバノウナギツカミ	○									NT		
29		ヌカボタデ	○	○								VU	DD	
30		ノダイオウ	○									VU	VU	
31	ナデシコ	ナンバンハコベ	○	○						○				○
32		オグラセンノウ	○									VU		
33	モクレン	シデコブシ	○	○						○		NT	VU	○
34	キンポウゲ	タカネトリカブト	○									VU	VU	
35		ミスミソウ	○	○						○		NT		○
36		カザグルマ	○	○						○		NT	VU	○
37		オキナグサ	○					○				VU	CR+EN	
38		ヒキノカサ	○									VU		
39		ノカラマツ	○									VU	DD	
40	メギ	ヘビノボラズ	○	○						○		VU	VU	○
41	スイレン	ジュンサイ	○							○				○
42		ヒメコウホネ	○									VU	CR+EN	
43		ヒツジグサ	○	○							○			○
44	ボタン	ヤマシャクヤク	○									NT	NT	
45	オトギリソウ	アゼオトギリ	○									EN	VU	
46	モウセンゴケ	イシモチソウ	○									NT	VU	
47		コモウセンゴケ	○										VU	
48		トウカイコモウセンゴケ	○	○							○		VU	○
49	ケシ	オサバグサ	○									VU		

表 8-4-2-7 (3) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準									
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
50	アブラナ	コイヌガラシ	○								NT			
51	マンサク	トサミズキ	○								NT			
52	ベンケイソウ	イワレンゲ	○								VU	DD		
53		ツメレンゲ	○								NT	NT		
54	ユキノシタ	キバナハナネコノメ	○								NT	NT		
55		ニッコウネコノメソウ	○							○			○	
56		シラヒゲソウ	○	○							○		VU	○
57		ウメバチソウ	○	○							○			○
58		ヤワタソウ	○										DD	
59		タコノアシ	○									NT	VU	
60		ヤシャビシャク	○									NT	NT	
61		ナメラダイヤモンドソウ	○								○			○
62	バラ	ザイフリボク	○	○							○			○
63		オオウラジロノキ	○	○							○			○
64		ツチグリ	○									VU	DD	
65		ハスノハイチゴ	○									NT		
66		ミヤマモミジイチゴ	○									NT		
67	マメ	ユクノキ	○	○							○			○
68		イヌハギ	○	○								VU	VU	
69		マキエハギ	○	○							○			○
70		ミヤマタニワタシ	○										DD	
71	フクロソウ	タチフウロ	○										DD	
72	トウダイグサ	ノウルシ	○								NT			
73	ヒメハギ	カキノハグサ	○	○							○		DD	○
74		ヒナノカンザシ	○	○							○			○
75	カエデ	ホソエカエデ	○										DD	
76		ハナノキ	○	○							○	VU	VU	○
77	モチノキ	タマミズキ	○	○							○			○
78	スマレ	アケボノスマレ	○								○			○
79	ミソハギ	ミズキカシグサ	○									VU	DD	

表 8-4-2-7 (4) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準										
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
80	ミソハギ	ミズマツバ	○	○							○	VU		○	
81	アリノトウグサ	タチモ	○	○							○	NT		○	
82	セリ	イブキボウフウ	○	○									NT		
83		サワゼリ	○									VU	DD		
84	イチヤクソウ	ウメガサソウ	○								○			○	
85		アキノギンリョウソウ	○	○							○			○	
86	ツツジ	サラサドウダン	○								○			○	
87		イワナンテン	○								○		NT	○	
88		ウスギヨウラク	○	○							○			○	
89		ホザキツリガネツツジ	○										NT		
90		ウラジロヨウラク	○								○			○	
91		ヨウラクツツジ	○									VU			
92		アズマシャクナゲ	○										DD		
93		レンゲツツジ	○	○							○			○	
94	サクラソウ	クリンソウ	○									VU			
95	モクセイ	ヒトツバタゴ	○	○						○	VU	VU	○		
96	マチン	アイナエ	○	○						○			○		
97	リンドウ	コケリンドウ	○									DD			
98		フデリンドウ	○							○			○		
99		アケボノソウ	○	○						○			○		
100		イヌセンブリ	○	○						○	VU	DD	○		
101		ムラサキセンブリ	○									NT			
102	ミツガシワ	ミツガシワ	○									CR+EN			
103		ガガブタ	○								NT	CR+EN			
104	ガガイモ	クサナギオゴケ	○								VU				
105		タチガシワ	○									DD			
106		スズサイコ	○	○						○	NT		○		
107	アカネ	ハナムグラ	○								VU				
108	ヒルガオ	マメダオシ	○								CR				
109	ムラサキ	ホタルカズラ	○	○						○			○		

表 8-4-2-7 (5) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準											
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
110	ムラサキ	ミズタビラコ	○	○							○			○		
111	シソ	タチキランソウ	○									NT				
112		ジュウニヒトエ	○	○							○			○		
113		ミズトラノオ	○	○								VU	DD			
114		ヤマジソ	○									NT				
115		セキヤノアキチョウジ	○										DD			
116		キソキバナアキギリ	○	○								○			○	
117		ミゾコウジュ	○										NT	NT		
118		ゴマノハグサ	ミヤマママコナ	○								○			○	
119	スズメハコベ		○	○							○	VU	DD	○		
120	ミカワシオガマ		○	○				○			○	VU	CR+EN	○		
121	ゴマノハグサ		○									VU				
122	オオヒキヨモギ		○	○								○	VU	DD	○	
123	イヌノフグリ		○										VU	VU		
124	カワヂシャ		○										NT			
125	イワタバコ		イワタバコ	○	○							○			○	
126	タヌキモ	タヌキモ	○									NT	DD			
127		ミミカキグサ	○	○								○		NT	○	
128		ホザキノミミカキグサ	○	○								○		NT	○	
129		ヒメタヌキモ	○										NT			
130		イヌタヌキモ	○										NT	NT		
131		ムラサキミミカキグサ	○	○								○	NT	NT	○	
132	オミナエシ	コキンレイカ	○										NT			
133		カノコソウ	○										NT			
134	マツムシソウ	マツムシソウ	○	○							○			○		
135	キキョウ	ツルギキョウ	○									VU				
136		バアソブ	○									VU				
137		キキョウ	○	○								○	VU	NT	○	
138	キク	オクモミジハグマ	○	○							○			○		

表 8-4-2-7 (6) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準									
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
139	キク	イワヨモギ	○									VU		
140		シオン	○									VU		
141		リョウノウアザミ	○										NT	
142		ヒダアザミ	○	○								VU	NT	
143		ヒゴタイ	○									VU	DD	
144		ムカシヨモギ	○										DD	
145		フジバカマ	○									NT	VU	
146		アキノハハコグサ	○									EN		
147		スイラン	○	○							○			○
148		ミズギク	○										DD	
149		カセンソウ	○										NT	
150		タカサゴソウ	○									VU	DD	
151		カワラニガナ	○									NT		
152		ヤマタバコ	○									CR	DD	
153		オオニガナ	○									-		
154		サワギク	○	○							○			○
155		サワオグルマ	○								○			○
156		オナモミ	○									VU		
157	オモダカ	アギナシ	○	○						○	NT	NT	○	
158	トチカガミ	スブタ	○								VU	VU		
159		ヤナギスブタ	○							○		VU	○	
160		トチカガミ	○									NT	VU	
161		ミズオオバコ	○									VU		
162	ヒルムシロ	コバノヒルムシロ	○								VU	DD		
163	イバラモ	ホッサモ	○									VU		
164	ユリ	ソクシンラン	○							○			○	
165		キイトラッキョウ	○									VU	VU	
166		カタクリ	○	○							○			○
167		サクライソウ	○					○				EN	CR+EN	
168		イワショウブ	○	○							○			○
169		ホトトギス	○	○							○			○
170		アマナ	○								○			○

表 8-4-2-7 (7) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準										
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
171	ユリ	ミカワバイケイソウ	○	○							○	VU	VU	○	
172	ヒガンバナ	キツネノカミソリ	○								○			○	
173	アヤメ	ノハナショウブ	○	○							○			○	
174		ヒメシャガ	○									NT	VU		
175		カキツバタ	○									NT	VU		
176	ホシクサ	クロイヌノヒゲ	○									NT			
177		ツクシクロイヌノヒゲ		○								VU			
178		シラタマホシクサ	○	○							○	VU	VU	○	
179		クロホシクサ	○	○								VU			
180	イネ	イヌカモジグサ	○									EN			
181		ヒメコヌカグサ	○	○								NT			
182		ヒナザサ	○	○								NT			
183		ウンヌケモドキ	○	○								NT	VU		
184		ウンヌケ	○	○								VU	VU		
185	サトイモ	ウラシマソウ		○									NT		
186		ヒメザゼンソウ	○										NT		
187	ミクリ	ナガエミクリ	○									NT	VU		
188		ヒメミクリ		○									VU		
189	カヤツリグサ	サヤマスゲ	○									VU			
190		ワタスゲ	○										NT		
191	ラン	ヒナラン	○									EN			
192		イワチドリ	○									EN	VU		
193		マメツタラン	○									NT	VU		
194		ムギラン	○	○								NT	NT		
195		エビネ	○	○							○	NT	VU	○	
196		ナツエビネ	○									VU	NT		
197		キエビネ	○									EN			
198		ギンラン	○	○							○			○	
199		キンラン	○	○							○	VU	NT	○	
200			クマガイソウ	○						○		VU	CR+EN		

表 8-4-2-7 (8) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準										
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
201	ラン	アツモリソウ	○			国内					VU				
202		セッコク	○	○				○		○		CR+EN	○		
203		サワラン	○								○		DD	○	
204		ミヤマウズラ	○	○							○			○	
205		サギソウ	○	○							○	NT	VU	○	
206		ミズトンボ	○									VU	VU		
207		ムヨウラン	○								○			○	
208		ウスギムヨウラン	○									NT			
-		<i>Lecanorchis</i> 属		注2								注2			注2
209		ジガバチソウ	○	○								○		○	
210		クモキリソウ	○	○								○		○	
211		フタバラン	○										NT		
212		アリドオシラン	○										NT		
213		ヨウラクラン	○	○								○		NT	○
214		ヒナチドリ	○										VU		
215		カモメラン	○									NT	DD		
216		ウチョウラン	○						○			VU	CR+EN		
217		コケイラン	○	○								○			○
218		トキシソウ	○									○	NT	VU	○
219		マツラン	○										VU		
220		モミラン	○										VU		
221		カヤラン	○	○								○		NT	○
222	クモラン	○									○			○	
計	74 科	222 種	218 種	83 種	0 種	1 種	0 種	6 種	0 種	85 種	126 種	118 種	85 種	0 種	

- 注1. 分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査 植物目録1987」環境庁(1987)に準拠した。
- 注2. *Lecanorchis* 属(ムヨウラン属)は、ムヨウランの場合、御嵩町 RDB で「御嵩町希少種」に該当する。なお、重要種の種数には計上していない。
- 注3. 高等植物に係る重要な種の選定基準は以下のとおりである。
- ① 「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号)
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
 - ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年、法律第75号)
国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種
 - ③ 「岐阜県文化財保護条例」(昭和29年、岐阜県条例第37号)
県天：県指定天然記念物
 - ④ 「岐阜県希少野生動植物種保護条例」(平成15年、岐阜県条例第22号)
○：指定希少野生動植物
 - ⑤ 「中津川市文化財保護条例」(昭和51年、中津川市条例第42号)
「恵那市文化財保護条例」(平成16年、恵那市条例第215号)
「瑞浪市文化財保護条例」(昭和51年、瑞浪市条例第39号)
「御嵩町文化財保護に関する条例」(昭和51年、御嵩町条例第9号)
「可児市文化財保護に関する条例」(昭和30年、可児市条例第27号)
「多治見市文化財保護条例」(昭和52年、多治見市条例第29号)
市天：市指定天然記念物、町天：町指定天然記念物
 - ⑥ 「御嵩町希少野生生物保護条例」(平成18年、御嵩町条例第17号)
○：指定希少野生生物
 - ⑦ 「環境省第4次レッドリスト 植物 I (維管束植物)」(平成24年、環境省)
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、
VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
 - ⑧ 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物—岐阜県レッドデータブック」(平成13年、岐阜県)
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、VU：絶滅危惧 II 類、
NT：準絶滅危惧、DD：情報不足
 - ⑨ 「御嵩町版レッドデータブック：御嵩町の絶滅のおそれのある野生生物 2007 (鳥類、蝶類、植物、魚類・貝類編)」(平成19年、御嵩町)
○：掲載種
 - ⑩ 専門家の助言により選定した種
○：指摘種

イ. 高等植物に係る植生

7) 高等植物に係る植生の状況

現地調査において、合計 32 の高等植物に係る群落及び 8 つの土地利用が確認された。

現地調査の結果概要を、表 8-4-2-8 及び図 8-4-2-2 に示す。

表 8-4-2-8 (1) 高等植物に係る群落及び土地利用の概要

No.	群落名	概要
1	カナメモチ-コジイ群集	ツブラジイが優占する群落である。高木層には、ツブラジイの他、ツクバネガシ、ウラジログシ、コナラ等が生育する。亜高木層には、ツブラジイ、アラカシ、リョウブ等が生育し、低木層には、サカキ、アラカシ、ヤブツバキ、ヒサカキ等が生育する。草本層には、上層木の幼木の他、ベニシダ、ツルアリドオシ、シュンラン等が生育する。
2	シキミ-モミ群集	モミが優占する群落である。高木層には、モミの他、コナラ、アベマキ、シラカシ等が生育する。亜高木層には、植栽に由来するスギ、ヒノキの他、アラカシ、リョウブ等が生育し、低木層には、シロモジ、ヤブツバキ、モミ等が生育する。草本層には、ネザサ、チゴユリ、ジャノヒゲ等が生育する。
3	ケヤキ群落	ケヤキが優占する群落である。高木層には、ケヤキ、エノキ、ホオノキが生育し、亜高木層、低木層にはケヤキ、ヤマザクラ、アラカシ、カヤ、イボタノキ等が生育する。草本層はテイカカズラ、ナガバジャノヒゲ、ベニシダ等が生育する。
4	ハンノキ群落	ハンノキが優占する群落である。高木層には、ハンノキの他、つる性植物のフジ、ツタが生育する。亜高木層には、ハンノキ、エゴノキ、ウワミズザクラが生育し、低木層には、イヌツゲ、ノリウツギ、ヤブデマリ、エノキ等が生育する。草本層には、ドクダミ、ヌマトラノオ、ハリガネワラビ、ゼンマイ等が生育する。
5	ヤナギ高木群落	水路沿いに成立するオオタチヤナギが優占する群落である。高木層には、オオタチヤナギのみが生育する。亜高木層を欠き、低木層にはエゴノキ、クリ等の広葉樹やヤマノイモ、アケビ、ツタ等のつる性植物が生育する。草本層には、オニドコロ、ヤブマメ等のつる性植物の他、コチヂミザサ、ミゾソバ、ネザサ等が生育する。
6	ネコヤナギ群落	河川敷に成立するネコヤナギが優占する低木群落である。高木層、亜高木層を欠き、低木層には、ネコヤナギが生育する。草本層には、チガヤ、ススキ、ツルヨシ等のイネ科植物の他、セイタカアワダチソウ、クズ等が生育する。
7	タチヤナギ群落	ため池の周辺部に成立するタチヤナギが優占する低木群落である。高木層、亜高木層を欠き、低木層には、タチヤナギが生育する。草本層には、ヤナギタデ、ヌマガヤ、アゼガヤツリ、セリ等が生育する。
8	カワラハンノキ群落	河川敷に成立するカワラハンノキが優占する低木群落である。高木層、亜高木層を欠き、低木層には、カワラハンノキの他、ヒサカキ、ネムノキが生育する。草本層には、カワラハンノキ、ネコヤナギ、ノイバラ、アオツヅラフジ等が生育する。
9	アラカシ二次林	アラカシが優占する群落である。高木層には、アラカシの他、コナラ、ホオノキ等が生育する。亜高木層には、アラカシ、リョウブ、カキノキ等が生育し、低木層には、アラカシ、ヤブツバキ、サカキ等が生育する。草本層には、上層木の幼木の他、マルバベニシダ、シャシャンボ等が疎生する。

表 8-4-2-8 (2) 高等植物に係る群落及び土地利用の概要

No.	群落名	概要
10	コナラーアベマキ群落	主にコナラもしくはアベマキが優占する群落である。高木層には、コナラ、アベマキの他、ホオノキ、カスミザクラ、アカマツ等が生育する。亜高木層には、リョウブ、ソヨゴ、アズキナシ、アラカシ等が生育し、低木層には、ヒサカキ、アセビ、イヌツゲ、ツクバネウツギ等が生育する。草本層には、ネザサ、ジャノヒゲ、コウヤボウキ、チゴユリ等が生育する。
11	アカメガシワ-カラスザンショウ群落	主にヌルデもしくはアカメガシワが優占する群落である。高木層、低木層には、ヌルデ、アカメガシワの他、ヤマハゼ、ネムノキ、クズ等が生育する。草本層には、セイタカアワダチソウ、ヘクソカズラ、コチヂミザサ等が生育する。
12	アカマツ群落	主にアカマツが優占する群落である。高木層には、アカマツの他、リョウブ、ソヨゴ、コナラ等が生育する。亜高木層には、リョウブ、ソヨゴ、オキアガリネズ等が生育し、低木層には、ヒサカキ、コバノミツバツツジ、ネジキ、ナツハゼ等が生育する。草本層には、サルトリイバラ、ヤマウルシ、モチツツジ、ソヨゴ等が生育する。
13	アカマツ低木林	主にアカマツもしくはアイグロマツが優占する群落である。低木層には、アカマツ、アイグロマツの他、リョウブ、ソヨゴ、オキアガリネズ等が生育し、草本層には、メリケンカルカヤ、ススキ、ソヨゴ等が生育する。
14	メダケ群落	メダケが優占する低木群落である。高木層、亜高木層を欠き、低木層には、メダケ、ヤブツバキ、ヒサカキ、ヤマノイモが生育する。草本層には、ヒガンバナ、ヤマイタチシダ、ヤブコウジが生育する。
15	ネザサ群落	ネザサもしくはケネザサが優占する群落である。低木層には、ネザサ、ケネザサの他、オニドコロ、クズ、アオツツラフジ等のつる性植物が生育し、草本層には、ジャノヒゲ、フジ等が疎生する。
16	クズ群落	クズが優占する群落である。クズの他、ノイバラ、セイタカアワダチソウ、カナムグラ等が生育する。
17	ススキ群団	主にススキが優占する群落である。ススキの他、メリケンカルカヤ、ヨモギ、セイタカアワダチソウ、ヒヨドリバナ等が生育する。
18	伐採跡地群落	森林の伐採跡地に成立する草本群落、もしくは植生高 1m 前後の低木群落である。コジキイチゴ、ビロードイチゴ、ダンドボロギク、ヨウシュヤマゴボウ等が生育する。
19	貧養地植物群落	貧栄養立地に成立するヌマガヤ群落、イヌノハナヒゲ群集、ミヤコイバラ-ウメモドキ群集を統合した群落である。ヌマガヤ群落では、ヌマガヤが優占する他、タイワンカモノハシ、コイヌノハナヒゲ、サワシロギク、ノギラン等が生育する。イヌノハナヒゲ群集では、イトイヌノハナヒゲ、ミカヅキグサ、ホザキノミミカキグサ、ミミカキグサ、モウセンゴケ等が生育する。ミヤコイバラ-ウメモドキ群集は、植生高は 2~16m と林分によって階層構造が大きく異なっている。低木層以上には、シデコブシ、サクラバハンノキ、ミヤマウメモドキ、クロミノニシゴリ等が特徴的に出現する他、ソヨゴ、イヌツゲ、リョウブ等の二次林要素が生育する。草本層には、ヌマガヤ、ショウジョウバカマ、イヌツゲ、ゼンマイ等が生育する。
20	サワトウガラシ-ニッポンイヌノヒゲ群集	貧栄養の溜池の減水裸地に成立する群落である。サワトウガラシ、ヌメリグサ、ツクシクロイヌノヒゲ、シロイヌノヒゲ、ニッポンイヌノヒゲ等が生育する。
21	ヨシクラス	ため池の周辺部に成立する群落である。ヨシのみが優占する。場所によりマコモが優占しアオウキクサが生育する群落がある。
22	ツルヨシ群集	ツルヨシが優占する群落である。ツルヨシの他、ミゾソバ、メヒシバ、カナムグラ等が生育する。

表 8-4-2-8 (3) 高等植物に係る群落及び土地利用の概要

No.	群落名	概要
23	オオオナモミ-トキンソウ群落	富栄養の溜池の減水裸地に成立する群落である。オオオナモミ、トキンソウ、アメリカアゼナ、イヌタデ等が生育する。
24	スギ・ヒノキ・サワラ植林	スギ、もしくはヒノキの植林地である。スギ植林では、高木層にはスギが生育し、亜高木層は欠くかヒノキが生育する。低木層には、アオキ、ヤブツバキ、ヤブムラサキ等が生育し、草本層には、ベニシダ、ドクダミ、ヒカゲイノコズチ、シンミズヒキ等が生育する。ヒノキ植林では、高木層にはヒノキ1種が生育し、亜高木層は欠くことが多いが、管理不足の場合には、高木層にコナラ、スギ等が混生し、亜高木層にリョウブ、ソヨゴ等が生育する。低木層には、ヒサカキ、コシアブラ、タカノツメ等が生育し、草本層には、ヒサカキ、ベニシダ、ヤマウルシ等が生育する。
25	外国産植樹植林	放棄されたクワ畑に成立するシンジュが優占する群落である。高木層、亜高木層には、シンジュが優占する。低木層にはシンジュの他にエノキ、オニグルミが生育する。低木層には、ネザサ、ヒナタイノコズチ、セイタカアワダチソウ等が生育する。
26	ニセアカシア群落	ハリエンジュが優占する群落である。高木層、低木層にはハリエンジュが生育する他、エノキ、マグワ、クズ等が生育する。草本層には、ヤブマメ、ヒカゲイノコズチ、ノイバラ、セイタカアワダチソウ等が生育する。
27	竹林	モウソウチク、マダケ、もしくはハチクが優占する群落である。高木層にはモウソウチク、マダケ、ハチクが生育する他、ヒノキ、スギ等が生育し、多くの林分では亜高木層を欠く。低木層にはヒサカキ、サカキ、アラカシ、アオキ等が生育し、草本層には、ジャノヒゲ、フジ、ベニシダ等が生育する。
28	ゴルフ場・芝地	シバ、コウシュンシバ等が植栽され、頻繁な刈り取りによって維持されている。
29	路傍・空地雑草群落	住宅地、その周辺の空地及び造成地に成立する草本群落である。セイタカアワダチソウ、ヨモギ、アレチヌスビトハギ、メドハギ、キンエノコロ等が生育する。
30	果樹園	栗、柿等が栽培されている樹園地である。
31	茶畑	お茶が栽培される樹園地。
32	畑雑草群落	畑地に成立する雑草群落である。ザクロソウ、メヒシバ、スベリヒユ、ハナイバナ、コニキシソウ等が生育する。
33	水田雑草群落	水田に成立する雑草群落である。コナギ、トキンソウ、タマガヤツリ、アメリカアゼナ、ヒナガヤツリ等が生育する。
34	放棄水田雑草群落	水田の放棄後に成立する。チゴザサ、ヌマトラノオ、ミゾソバ、セリ等が生育する。
35	市街地	道路、住宅地等の人工構造物である。
36	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等	土地利用形態の一凡例。墓地、公園等。

表 8-4-2-8 (4) 高等植物に係る群落及び土地利用の概要

No.	群落名	概要
37	造成地・グラウンド	建物等を建設するために整備された造成裸地であり、同様に植被のないグラウンドも含めている。
38	開放水域	河川、池沼等で抽水植物及び沈水植物等による植生が成立していない水域・水面である。
39	自然裸地	自然条件により植生が成立していない裸地である。
40	残存・植栽樹群地	ソメイヨシノ、ハナノキ、モミジ等の植栽樹からなる樹群地である。

注 1. 群落名は、原則として「自然環境保全基礎調査（環境省）・統一凡例」に準拠した。

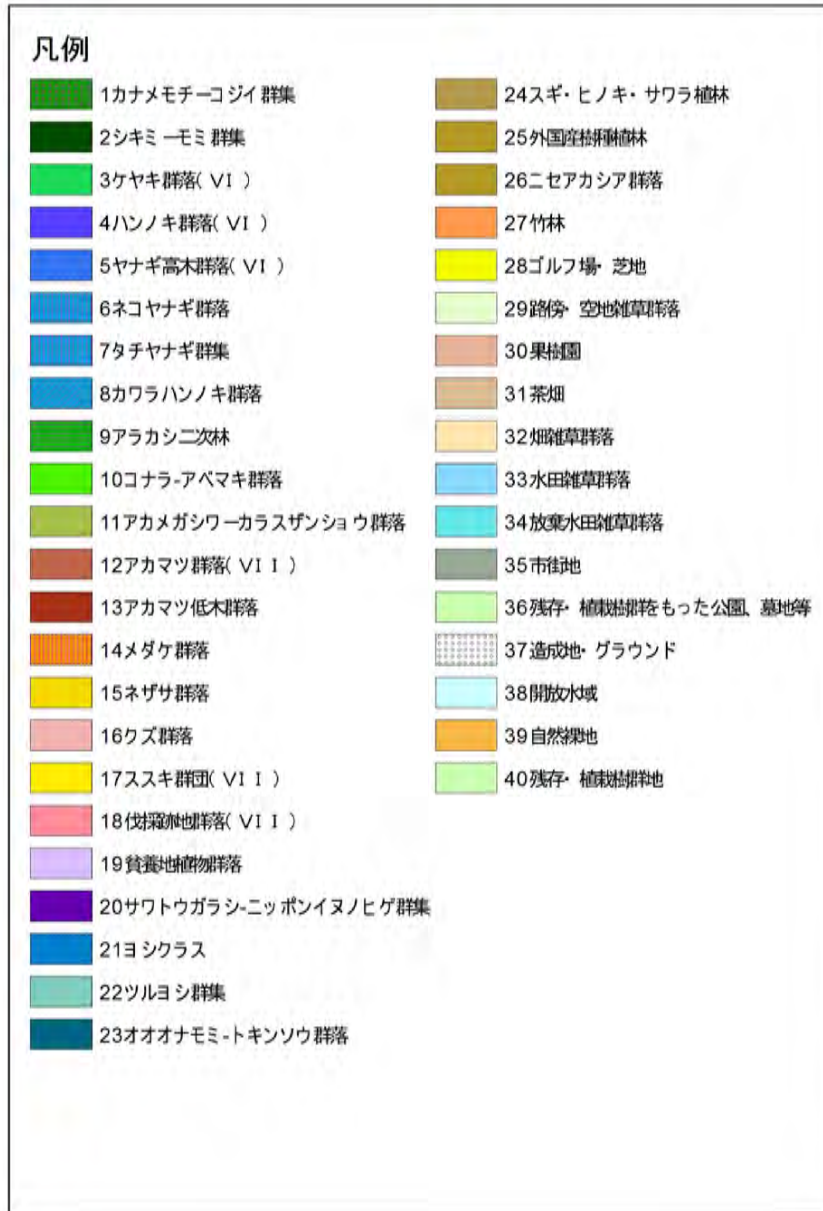
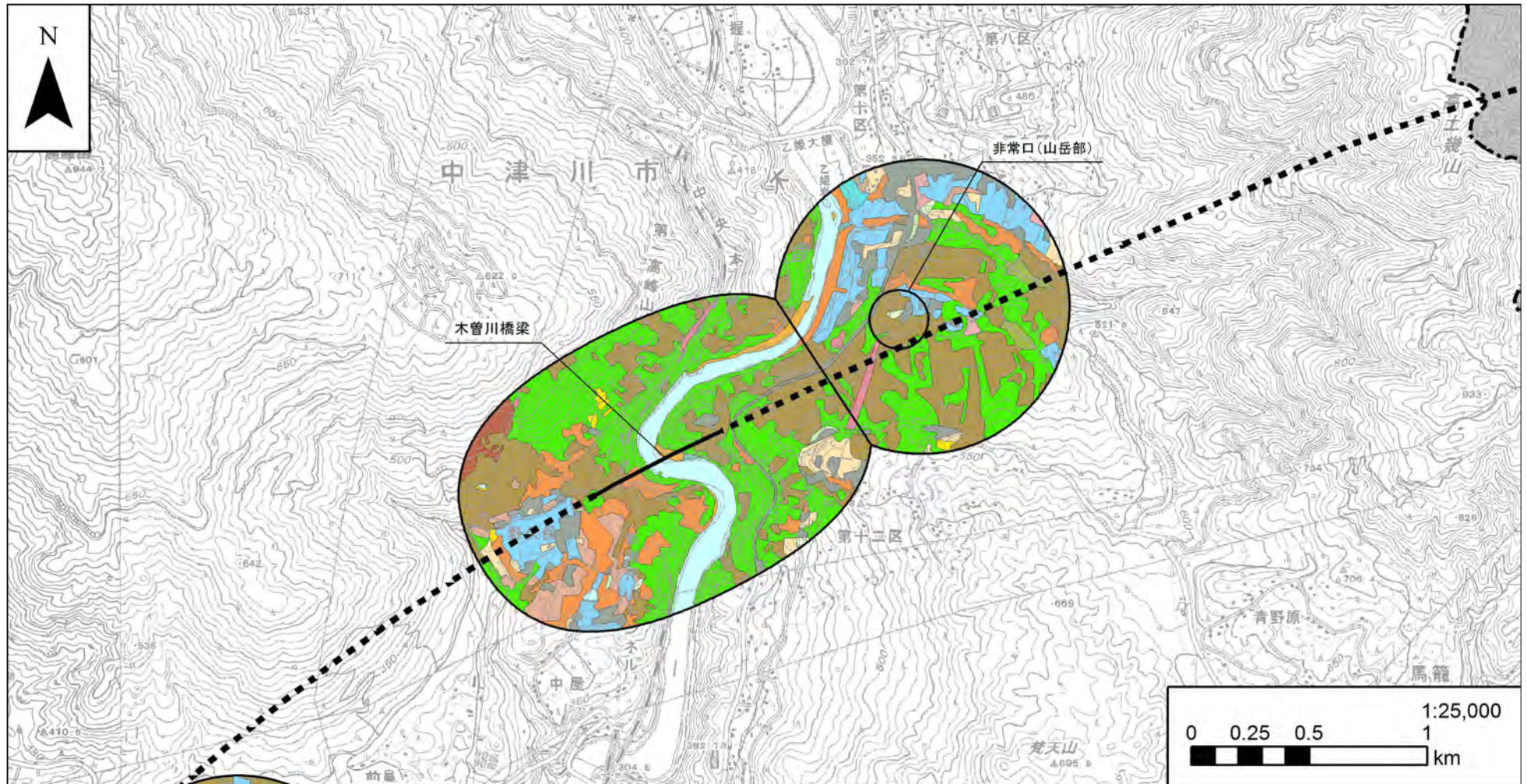


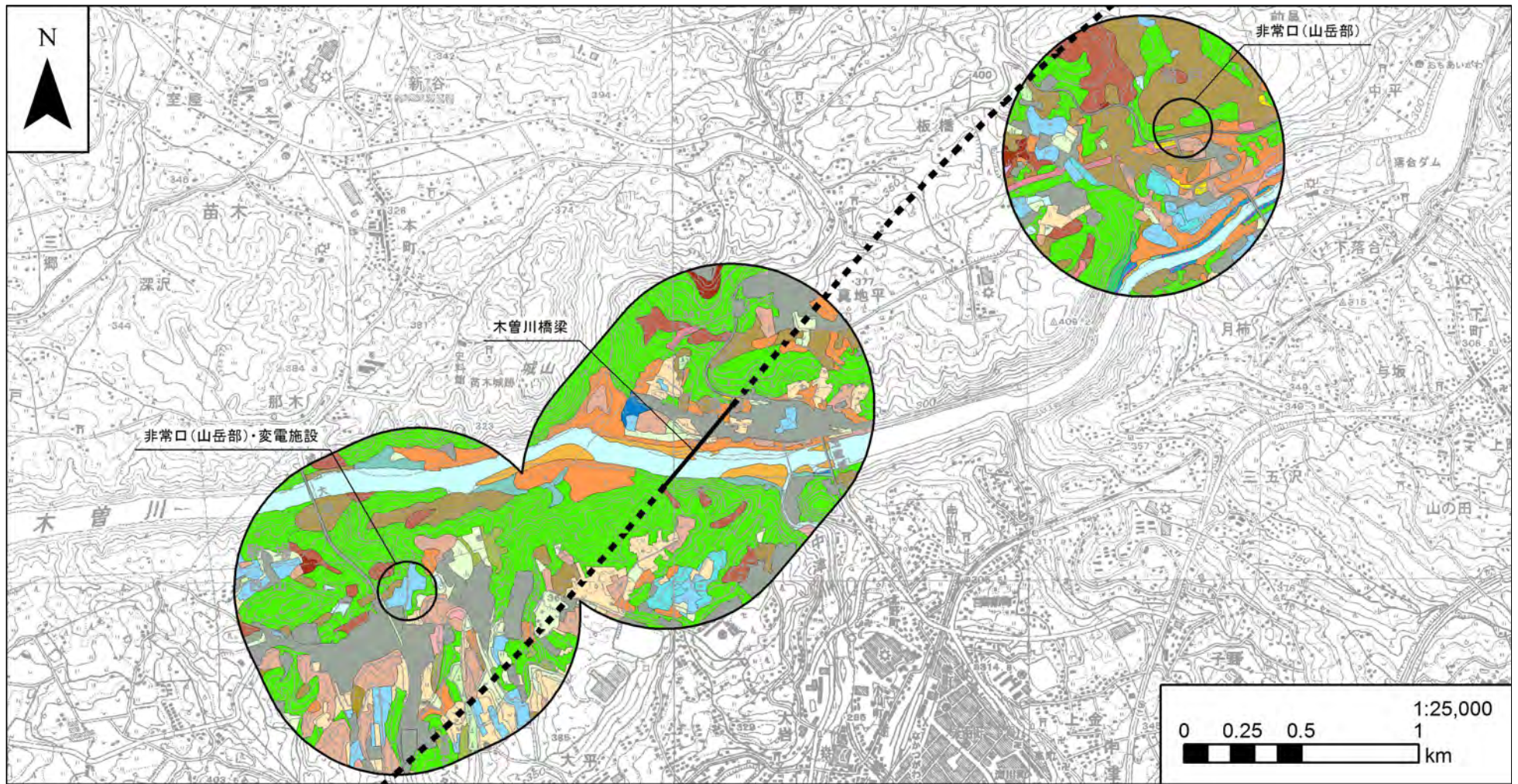
図 8-4-2-2 (1) 植生図凡例



凡例

- 計画路線(トンネル部) □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- - - 県境
- · - · 市区町村境

図 8-4-2-2 (2) 植生図



凡例

- 計画路線(トンネル部) □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- - - 県境
- 市区町村境

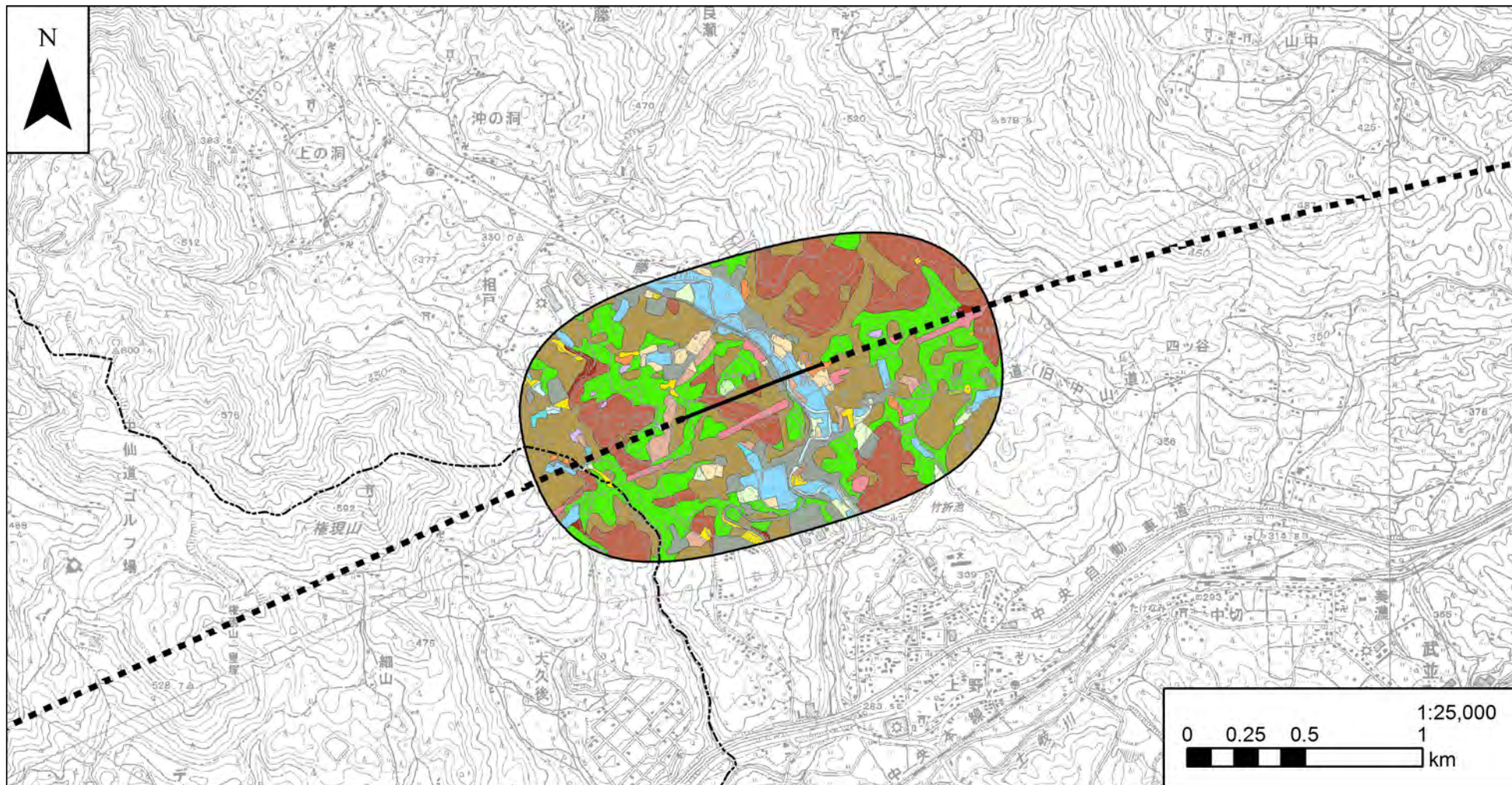
図 8-4-2-2 (3) 植生図



凡例

- 計画路線(トンネル部) □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- 県境
- 市区町村境

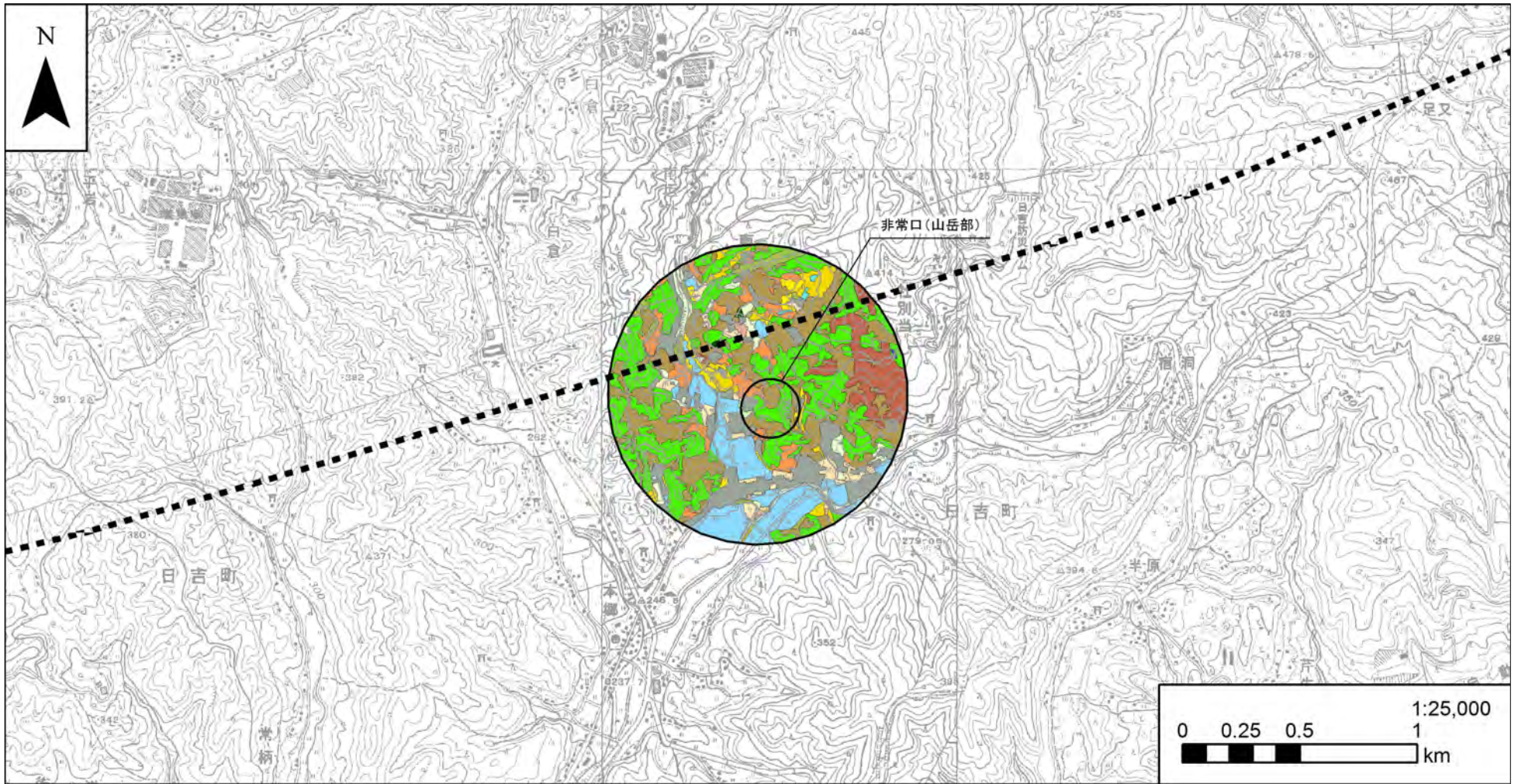
図 8-4-2-2 (4) 植生図



凡例

- 計画路線(トンネル部) □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- - - 県境
- · · 市区町村境

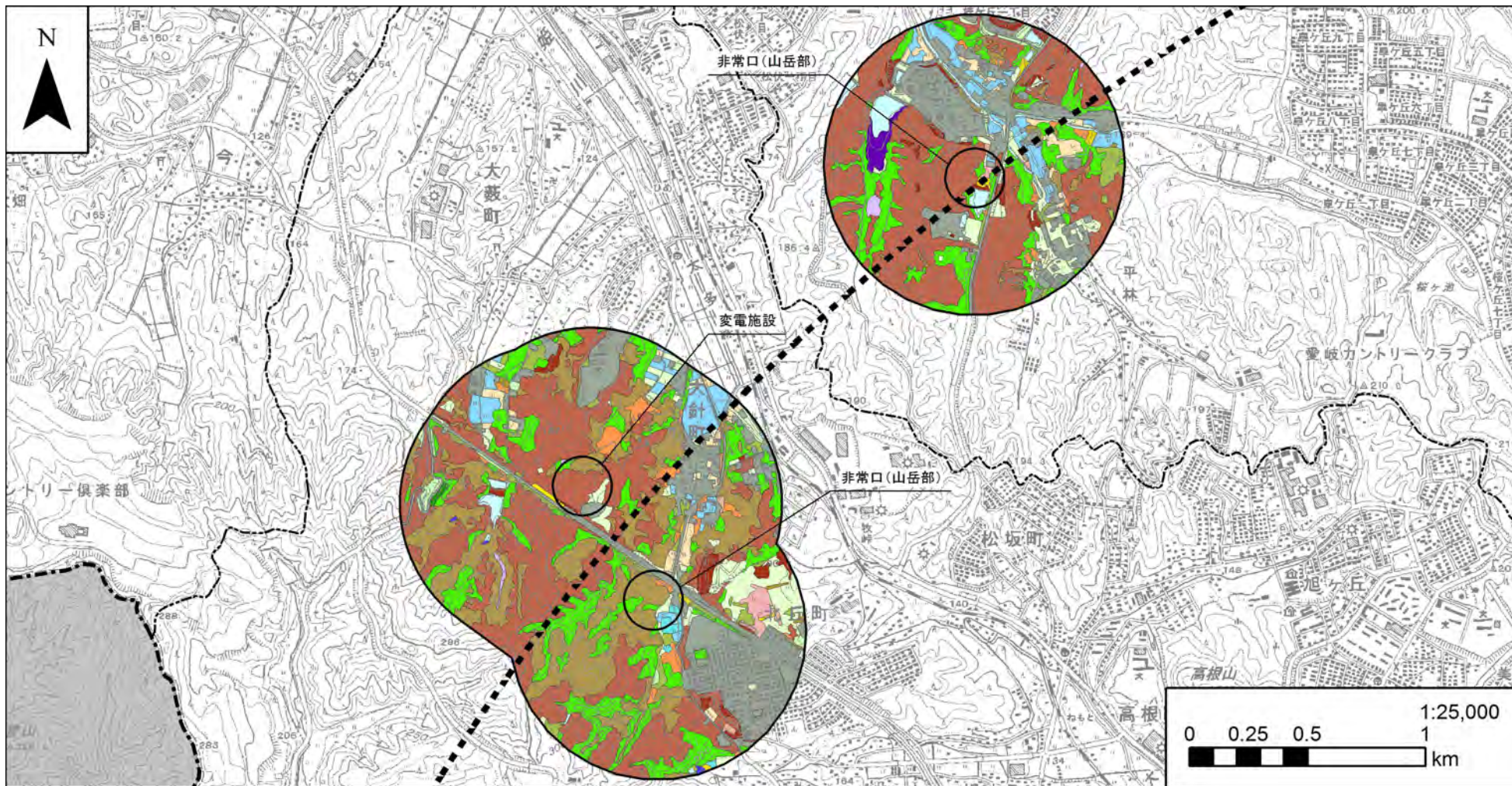
図 8-4-2-2 (6) 植生図



凡例

- 計画路線(トンネル部) □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- 県境
- 市区町村境

図 8-4-2-2 (7) 植生図



凡例

- 計画路線(トンネル部) □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- - - 県境
- 市区町村境

図 8-4-2-2 (10) 植生図

4) 高等植物に係る重要な群落の確認状況

高等植物に係る重要な群落は、文献調査及び現地調査の結果、調査地域においては確認されなかった。

(2) 予測及び評価

1) 予測

ア. 予測項目

現地調査で確認された重要な種及び群落に対する工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置）及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在による影響について予測した。

イ. 予測の基本的な手法

既存の知見の引用又は解析により、重要な種及び群落への影響の種類、影響の箇所、影響の程度について予測した。

ウ. 予測地域

予測地域は、工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置）及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在に係る重要な種及び群落への影響が生じるおそれがあると認められる地域として、調査地域と同様とした。

エ. 予測対象時期

予測対象時期は、工事の実施に係るものは工事中、鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在に係るものは鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の完成時とした。

オ. 予測対象種及び群落

予測対象種及び群落は、文献調査及び現地調査によって対象事業実施区域及びその周囲に生育する可能性が高いと考えられる重要な種及び群落とした。

なお、「御嵩町版レッドデータブック：御嵩町の絶滅のおそれのある野生生物 2007（鳥類、蝶類、植物、魚類・貝類編）」（平成 19 年、御嵩町）及び「御嵩町希少野生生物保護条例」（平成 18 年、御嵩町条例第 17 号）の指定希少野生生物は、御嵩町で確認された場合、予測対象種とした。

また、希少種保護の観点から、重要な種及び群落の詳細な確認位置については明示していない。

重要な種及び群落の予測対象種を表 8-4-2-9 に示す。

表 8-4-2-9 予測対象種及び群落

区分	種名及び群落名
<p>高等植物</p> <p>現地調査で確認された種 (83種)</p>	<p>ヤチスギラン、(マンネンスギ)、カミガモシダ、サクラバハノキ、(ツノハシバミ)、イヌブナ、サイコクヌカボ、ヤナギヌカボ、ヌカボタデ、(ナンバンハコベ)、シデコブシ、ミスミソウ、カザグルマ、ヘビノボラズ、(ヒツジグサ)、トウカイコモウセンゴケ、シラヒゲソウ、(ウメバチソウ)、(ザイフリボク)、(オオウラジロノキ)、ユクノキ、イヌハギ、(マキエハギ)、カキノハグサ、(ヒナノカンザシ)、ハナノキ、(タマミズキ)、ミズマツバ、タチモ、イブキボウフウ、(アキノギンリョウソウ)、ウスギヨウラク、レンゲツツジ、ヒトツバタゴ、(アイナエ)、(アケボノソウ)、イヌセンブリ、スズサイコ、(ホタルカズラ)、(ミズタビラコ)、(ジュウニヒトエ)、ミズトラノオ、(キソキバナアキギリ)、スズメハコベ、ミカワシオガマ、オオヒキヨモギ、イワタバコ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ、(マツムシソウ)、キキョウ、(オクモミジハグマ)、ヒダアザミ、(スイラン)、サワギク、アギナシ、(カタクリ)、(イワショウブ)、ホトトギス、ミカワバイケイソウ、(ノハナショウブ)、ツクシクロイヌノヒゲ、シラタマホシクサ、クロホシクサ、ヒメコヌカグサ、ヒナザサ、ウンヌケモドキ、ウンヌケ、ウラシマソウ、ヒメミクリ、ムギラン、エビネ、(ギンラン)、キンラン、セッコク、ミヤマウズラ、サギソウ、(Lecanorchis 属)、ジガバチソウ、クモキリソウ、ヨウラクラン、(コケイラン)、カヤラン () は御嵩町で未確認のため予測対象種から除外</p>
<p>高等植物</p> <p>文献調査において対象事業実施区域及びその周囲に生育する可能性が高いと考えられる重要な種の内、現地調査で確認されなかった種 (139種)</p>	<p>ミズスギ、スギラン、イヌカタヒバ、ミズニラ、チシマヒメドクサ、ヒメムカゴシダ、クジャクシダ、オクタマシダ、イチョウシダ、ミヤマシシガシラ、テバコワラビ、イワヤシダ、イヨクジャク、クラガリシダ、オオクボシダ、デンジソウ、サンショウモ、オオアカウキクサ、ヤマモモ、ナガバノウナギツカミ、ノダイオウ、オグラセンノウ、タカネトリカブト、オキナグサ、ヒキノカサ、ノカラマツ、ジュンサイ、ヒメコウホネ、ヤマシヤクヤク、アゼオトギリ、イシモチソウ、コモウセンゴケ、オサバグサ、コイヌガラシ、トサミズキ、イワレンゲ、ツメレンゲ、キバナハナネコノメ、ニッコウネコノメソウ、ヤワタソウ、タコノアシ、ヤシヤビシヤク、ナメラダイモンジソウ、ツチグリ、ハスノハイチゴ、ミヤマモミジイチゴ、ミヤマタニワタシ、タチフウロ、ノウルシ、ホソエカエデ、アケボノスミレ、ミズカキグサ、サワゼリ、ウメガサソウ、サラサドウダン、イワナンテン、ホザキツリガネツツジ、ウラジロヨウラク、ヨウラクツツジ、アズマシヤクナゲ、クリンソウ、コケリンドウ、フデリンドウ、ムラサキセンブリ、ミツガシワ、ガガブタ、クサナギオゴケ、タチガシワ、ハナムグラ、マメダオシ、タチキランソウ、ヤマジソ、セキヤノアキチヨウジ、ミゾコウジュ、ミヤマママコナ、ゴマノハグサ、イヌノフグリ、カワヂシヤ、タヌキモ、ヒメタヌキモ、イヌタヌキモ、コキンレイカ、カノコソウ、ツルギキョウ、バアソブ、イワヨモギ、シオン、リョウノウアザミ、ヒゴタイ、ムカシヨモギ、フジバカマ、アキノハハコグサ、ミズギク、カセンソウ、タカサゴソウ、カワラニガナ、ヤマタバコ、オオニガナ、サワギク、サワオグルマ、オナモミ、スブタ、ヤナギスブタ、トチカガミ、ミズオオバコ、コバノヒルムシロ、ホッスモ、ソクシンラン、キイトラッキョウ、サクライソウ、アマナ、キツネノカミソリ、ヒメシヤガ、カキツバタ、クロイヌノヒゲ、イヌカモジグサ、ヒメザゼンソウ、ナガエミクリ、サヤマスゲ、ワタスゲ、ヒナラン、イワチドリ、マメヅタラン、ナツエビネ、キエビネ、クマガイソウ、アツモリソウ、サワラン、ミズトンボ、ムヨウラン、ウスギムヨウラン、フタバラン、ヒナチドリ、カモメラン、ウチヨウラン、トキソウ、マツラン、モミラン、クモラン</p>
<p>群落</p> <p>現地調査で確認された群落 (0群落)</p>	<p>—</p>
<p>文献調査において対象事業実施区域及びその周囲に生育する可能性があると考えられる重要な群落の内、現地調査で確認されなかった群落 (0群落)</p>	<p>—</p>

カ. 影響予測の手順

影響予測は、図 8-4-2-3 に示す手順に基づき行った。

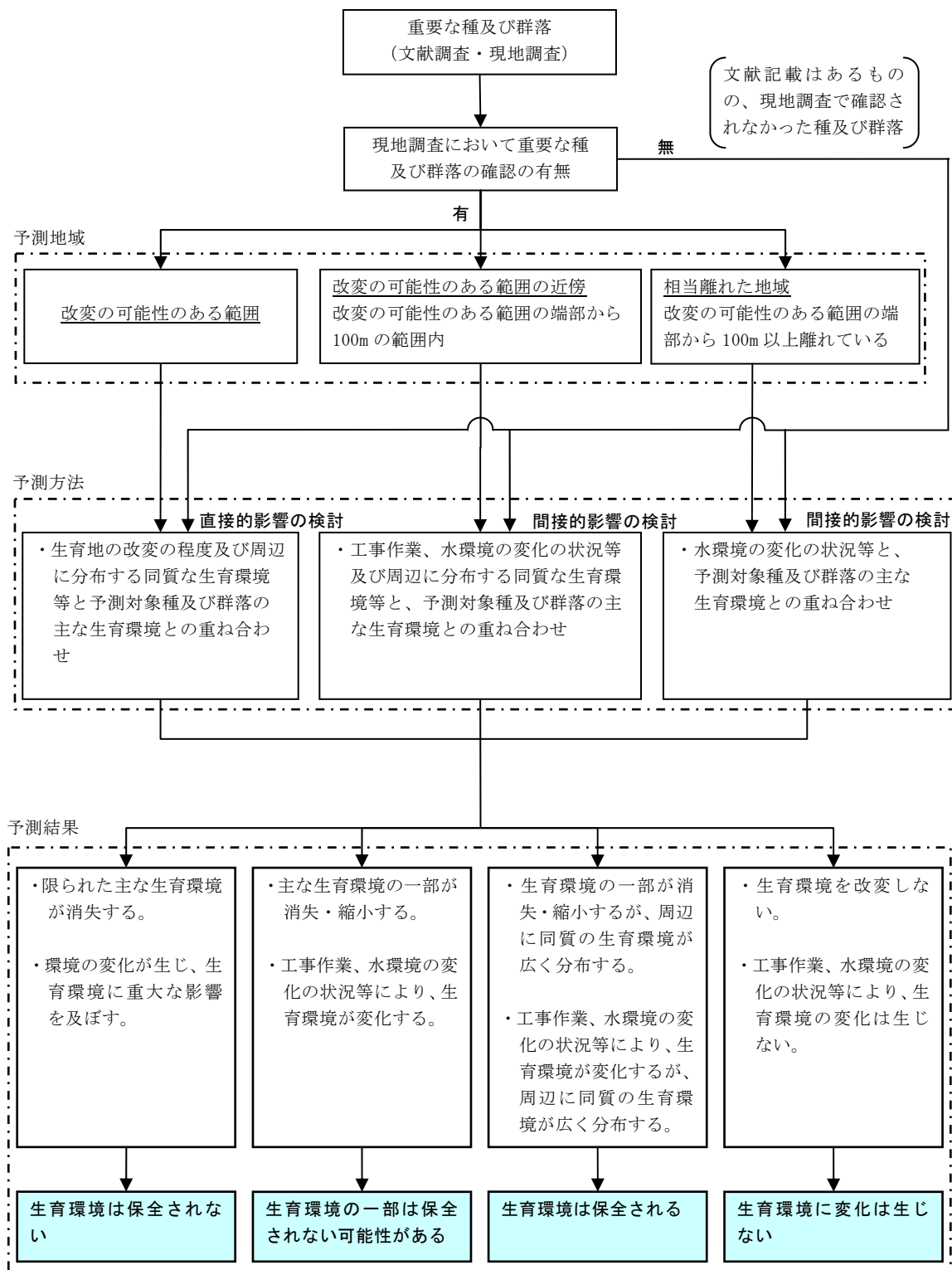


図 8-4-2-3 影響予測の手順

キ. 予測結果

7) 現地調査で確認された重要な種及び群落の生育環境への影響

現地調査で確認された重要な種の予測結果の概要を表 8-4-2-10 に示す。

また、個別の種に対する詳細な予測結果を表 8-4-2-11 に示す。

表 8-4-2-10 (1) 重要な種の予測結果の概要

No.	種名	確認種の生育環境	確認位置			生育環境への影響
			変更の可能性のある範囲	変更の可能性のある範囲の近傍	相当離れた地域	
1	ヤチスギラン	貧栄養湿地			○	生育環境に変化は生じない
2	カミガモシダ	山地の岩上、林床			○	生育環境に変化は生じない
3	サクラバハシノキ	湿地	○	○	○	生育環境の一部は保全されない可能性がある
4	イヌブナ	やや乾燥した山地			○	生育環境に変化は生じない
5	サイコクヌカボ	河川敷、低湿地			○	生育環境に変化は生じない
6	ヤナギヌカボ	水路等岸辺			○	生育環境に変化は生じない
7	ヌカボタデ	河川敷等水辺			○	生育環境に変化は生じない
8	シデコブシ	湿地	○	○	○	生育環境は保全される
9	ミスミソウ	葉広葉樹林の林床			○	生育環境に変化は生じない
10	カザグルマ	湿地等の林縁	○	○	○	生育環境の一部は保全されない可能性がある
11	ヘビノボラズ	湿地等の林縁	○	○	○	生育環境は保全される
12	トウカイコモウセンゴケ	貧栄養湿地		○	○	生育環境は保全される
13	シラヒゲソウ	山地谷沿いの湿地			○	生育環境に変化は生じない
14	ユクノキ	山地			○	生育環境に変化は生じない
15	イヌハギ	河原等の砂地			○	生育環境に変化は生じない
16	カキノハグサ	山地の林内		○	○	生育環境は保全される
17	ハナノキ	川岸等湿った所	○	○	○	生育環境の一部は保全されない可能性がある
18	ミズマツバ	水田、湿地	○	○	○	生育環境の一部は保全されない可能性がある
19	タチモ	貧栄養の湖沼、ため池		○	○	生育環境は保全される

表 8-4-2-10 (2) 重要な種の予測結果の概要

No.	種名	確認種の 生育環境	確認位置			生育環境への 影響
			改変の 可能性 のある 範囲	改変の 可能性 のある 範囲の 近傍	相当離れ た地域	
20	イブキボウフウ	草地	○	○	○	生育環境の一部は保全 されない可能性がある
21	ウスギヨウラク	山地の林縁、岩 陰			○	生育環境に変化は生じ ない
22	レンゲツツジ	草原、林縁			○	生育環境に変化は生じ ない
23	ヒトツバタゴ	やや湿った林 内		○	○	生育環境は保全される
24	イヌセンブリ	湿地			○	生育環境に変化は生じ ない
25	スズサイコ	日当たりのよ い草地	○	○	○	生育環境の一部は保全 されない可能性がある
26	ミズトラノオ	湿地	○			生育環境の一部は保全 されない可能性がある
27	スズメハコベ	湿地			○	生育環境に変化は生じ ない
28	ミカワシオガマ	日当たりの良 い湿地、林縁			○	生育環境に変化は生じ ない
29	オオヒキヨモギ	乾燥した草地			○	生育環境に変化は生じ ない
30	イワタバコ	湧水のある日 陰の岩場		○	○	生育環境は保全される
31	ミミカキグサ	湿地	○	○	○	生育環境の一部は保全 されない可能性がある
32	ホザキノミミカ キグサ	湿地	○		○	生育環境の一部は保全 されない可能性がある
33	ムラサキミミカ キグサ	湿地			○	生育環境に変化は生じ ない
34	キキョウ	日当たりのよ い草地	○	○	○	生育環境の一部は保全 されない可能性がある
35	ヒダアザミ	落葉広葉樹林 の林床			○	生育環境に変化は生じ ない
36	サワギク	やや湿り気 のある林内			○	生育環境に変化は生じ ない
37	アギナシ	湖沼、ため池、 水田、湿地等			○	生育環境に変化は生じ ない
38	ホトトギス	山地の崖等や や湿った所			○	生育環境に変化は生じ ない
39	ミカワバイケイ ソウ	低山帯の湿原			○	生育環境に変化は生じ ない

表 8-4-2-10 (3) 重要な種の予測結果の概要

No.	種名	確認種の 生育環境	確認位置			生育環境への 影響
			改変の可 能性のある 範囲	改変の可 能性のある 範囲の 近傍	相当離れた 地域	
40	ツクシクロイヌノ ヒゲ	干上がったた め池の岸			○	生育環境に変化は生じ ない
41	シラタマホシクサ	湿地			○	生育環境に変化は生じ ない
42	クロホシクサ	湿地	○			生育環境の一部は保全 されない可能性がある
43	ヒメコヌカグサ	山の水湿地	○	○	○	生育環境の一部は保全 されない可能性がある
44	ヒナザサ	山野の水辺、 湿地			○	生育環境に変化は生じ ない
45	ウンヌケモドキ	山地草原			○	生育環境に変化は生じ ない
46	ウンヌケ	低山草原			○	生育環境に変化は生じ ない
47	ウラシマソウ	山野の木陰			○	生育環境に変化は生じ ない
48	ヒメミクリ	湖沼、ため池、 湿原等		○	○	生育環境は保全される
49	ムギラン	常緑樹林内の 樹幹や岩上に 着生		○	○	生育環境は保全される
50	エビネ	山野の落葉樹 林内			○	生育環境に変化は生じ ない
51	キンラン	落葉樹林内	○	○	○	生育環境の一部は保全 されない可能性がある
52	セッコク	樹上、岩上に 着生			○	生育環境に変化は生じ ない
53	ミヤマウズラ	山地の林内		○	○	生育環境は保全される
54	サギソウ	日当たりのよ い湿原			○	生育環境に変化は生じ ない
55	ジガバチソウ	クリ帯からブ ナ帯の疎林の 林床			○	生育環境に変化は生じ ない
56	クモキリソウ	林内		○	○	生育環境は保全される
57	ヨウラクラン	樹幹、岩上に 着生			○	生育環境に変化は生じ ない
58	カヤラン	樹幹に着生			○	生育環境に変化は生じ ない

表 8-4-2-11 (1) 重要な種の予測結果

ヤチスギラン (ヒゲノカズラ科)		
一般生態	北海道、本州（近畿地方中部以北）に分布する。貧栄養の湿地に生える多年生シダ植物。直立茎は高さ 4～13cm、胞子のう穂は直立茎の先端に通常 1 個つき、長さ 2～4cm、胞子葉はやや開出し、狭線形、基部は広く、先は細くとがる。	
確認状況	・多治見市において秋季調査時に合計 1 地点 (2.5×2.0m の範囲) で確認された。確認された 1 地点 (2.5×2.0m の範囲) は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (2) 重要な種の予測結果

カミガモシダ (チャセンシダ科)		
一般生態	本州（新潟県、岐阜県以西）、四国、九州に分布する。山地の岩上や地上に生じる常緑性のシダ。中軸の先端は伸びて、地に接したところで芽をつけ、無性的に繁殖するので、やや密な群落をつくることがある。日本固有種で、京都府から兵庫県（中・北部）ではやや普通であるが、他ではまれである。	
確認状況	・可児市において春季及び秋季調査時に合計 2 地点 30 個体が確認された。確認された 2 地点 30 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された 2 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (3) 重要な種の予測結果

サクラバハシノキ (カバノキ科)		
一般生態	本州（茨城・栃木・新潟県以西）、九州（宮崎県）に分布する。湿地にまれに生える落葉高木。高さ 10～15m、直径 20cm 程になる。花は 2～3 月に葉に先立って開く。雄花序は枝の先に 4～5 個ついて下垂する。雌花序はその下方に 3～5 個つき、短い柄がある。	
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市において合計 61 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 21 地点 36 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 1 個体、改変の可能性のある近傍で 3 地点 9 個体、相当離れた地域で 17 地点 26 個体確認された。 ・恵那市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 29 地点 100 個体以上が確認された。確認された 29 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・瑞浪市においては、春季調査時に合計 4 地点 29 個体が確認された。その内、改変の可能性のある近傍で 1 地点 4 個体、相当離れた地域で 3 地点 25 個体確認された。 ・御嵩町においては、春季調査時に合計 2 地点 3 個体が確認された。確認された 2 地点 3 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、春季調査時に合計 1 地点 2 個体が確認された。確認された 1 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・多治見市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 4 地点 10 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 7 個体、改変の可能性のある近傍で 2 地点 2 個体、相当離れた地域で 1 地点 1 個体確認された。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 2 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市瀬戸・駒場地区（1 地点）、多治見市西山町・大針町地区（1 地点）において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 ・その他、本種が確認された 6 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、53 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、中津川市瀬戸・駒場地区、多治見市西山町・大針町地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があると予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (4) 重要な種の予測結果

イヌブナ (ブナ科)		
一般生態	本州 (岩手・石川県以西)、四国、九州に分布する。落葉高木。高さ 25m、直径 20cm 程になる。ブナより少し標高の低いところに生え、太平洋側のやや乾燥した山地に多い。中部地方以北の日本海側の多雪地帯にはほとんど分布しない。萌芽力が旺盛。花期は、4～5 月。果実は堅果で、その年の秋に熟す。雄花序は新枝の下部の葉腋に数個つき、長軟毛を密生する長さ 1～1.3cm の柄をもつ。	
確認状況	中津川市、御嵩町、可児市において合計 5 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、春季調査時に合計 2 地点 2 個体が確認された。確認された 2 地点 2 個体は相当離れた地域であった。 ・御嵩町においては、春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は相当離れた地域であった。 ・可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計 2 地点 2 個体が確認された。確認された 2 地点 2 個体は相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 5 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (5) 重要な種の予測結果

サイコクヌカボ (タデ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。河川敷、ため池の周辺等の低湿地に生育する 1 年草。花期は 9 月～10 月。総状花序は長さ 5～6cm で先端はたれ、まばらに花をつける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・可児市において秋季調査時に合計 1 地点 16 個体が確認された。確認された 1 地点 16 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (6) 重要な種の予測結果

ヤナギヌカボ (タデ科)		
一般生態	北海道、本州、九州に分布する。山地帯、丘陵帯の農業用水池等の岸辺に生育する 1 年草。花期は 9 月～10 月。高さ 40～60cm、花は枝の先にまばらな 5～6cm の穂状につく。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・可児市において秋季調査時に合計 1 地点 100 個体以上が確認された。確認された 1 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(7) 重要な種の予測結果

ヌカボタデ (タデ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。丘陵帯の河川敷の水辺等に生育する1年草。花期は9月～11月。高さ20～40cm、花は枝の先にまばらに穂状につく。	
確認状況	・可児市において秋季調査時に合計1地点20個体が確認された。確認された1地点20個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(8) 重要な種の予測結果

シデコブシ (モクレン科)		
一般生態	本州（東海地方の伊勢湾周辺地域）に分布する。湿地やその周辺に生える落葉小高木。高さ5m程になる。自生地では群生し、純林をつくる。花期は3～4月で、葉が展開する前に直径7～10cmの芳香のある花を開く。花被片は12～18個。ふつう白色だが、淡紅色を帯びるものもある。果実は10月頃熟す。	
確認状況	中津川市、恵那市、御嵩町、可児市、多治見市において合計146地点で確認された。 ・中津川市においては、早春季、春季、夏季及び秋季調査時に合計65地点100個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で14地点31個体、改変の可能性のある範囲の近傍で10地点54個体、相当離れた地域で41地点100個体以上確認された。 ・恵那市においては、早春季、春季、夏季及び秋季調査時に合計38地点100個体以上が確認された。確認された1地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・御嵩町においては、早春季、春季及び夏季調査時に合計14地点100個体以上が確認された。確認された14地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、早春季、春季及び夏季調査時に合計11地点42個体が確認された。確認された11地点42個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・多治見市においては、早春季、春季、夏季及び秋季調査時に合計18地点100個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で2地点11個体、改変の可能性のある範囲の近傍で3地点4個体、相当離れた地域で13地点100個体以上確認された。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された16地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市瀬戸・駒場地区（6地点）、中津川市千旦林地区（8地点）、多治見市西山町・大針町地区（2地点）において、生育環境の一部が消失する可能性があるが、同地区で改変の可能性のある範囲外にも本種が多数確認されており、周辺に同質の環境が広く分布すると考えられることから、同地区の生育環境は保全される。 ・その他、本種が確認された13地点は改変の可能性のある範囲の近傍、117地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、生育環境は保全されると予測する。
	土地又は工作物の存在	・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (9) 重要な種の予測結果

ミスミノウ (キンポウゲ科)		
一般生態	本州（中部地方以西）と九州北部に分布する。落葉広葉樹林の林床にはえる常緑の多年草。花期は 3～4 月。高さ 10～15cm の花茎を出し、径 1～1.5cm 位の花を頂生する。花色は白色、淡紫色、淡青紫色、淡紅色等変異が大きい。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> 中津川市において早春季調査時に合計 1 地点 10 個体が確認された。確認された 1 地点 10 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(10) 重要な種の予測結果

カザグルマ (キンポウゲ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。林縁に生える落葉性のつる性の低木。湿り気の多い所を好み、湿地にも生える一方、蛇紋岩地帯にも見かける。花期は 5～6 月。花は直径 7～12cm と大きく、上向きに咲く。萼片は白色又は淡紫色で花弁のように見える。花が大型で美しいため、古くから栽培され、園芸種も多い。	
確認状況	<p>中津川市、恵那市において合計 24 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中津川市においては、春季調査時に合計 17 地点 35 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 2 地点 3 個体、相当離れた地域で 15 地点 32 個体確認された。 恵那市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 7 地点 15 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 3 個体、相当離れた地域で 6 地点 12 個体確認された。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された 2 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市瀬戸・駒場地区（2 地点）において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 その他、本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、21 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 したがって、中津川市瀬戸・駒場地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(11) 重要な種の予測結果

ヘビノボラズ (メギ科)		
一般生態	本州 (中部地方南西部、近畿地方)、九州 (宮崎県) に分布する。湧水湿地周辺の林縁や疎林内に生育する小型の落葉低木。高さ 80cm 程で、枝には鋭い刺がある。花期は 4~5 月。短枝の先より垂れ下がる総状花序をだし、数個の花をつける。花は黄色で径約 6mm。	
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、可児市、多治見市において合計 35 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 11 地点 52 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 30 個体、相当離れた地域で 10 地点 22 個体確認された。 ・恵那市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 18 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 2 地点 8 個体、相当離れた地域で 16 地点 100 個体以上確認された。 ・瑞浪市においては、春季調査時に合計 1 地点 9 個体が確認された。確認された 1 地点 9 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、春季及び夏季調査時に合計 2 地点 3 個体が確認された。確認された 2 地点 3 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・多治見市においては、春季及び秋季調査時に合計 3 地点 5 個体が確認された。確認された 3 地点 5 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市千旦林地区 (1 地点) において、生育環境の一部が消失する可能性があるが、同地区で改変の可能性のある範囲外にも本種が多数確認されており、周辺に同質の環境が広く分布すると考えられることから、同地区の生育環境は保全される。 ・その他、本種が確認された 2 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、34 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、生育環境は保全されると予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(12) 重要な種の予測結果

トウカイコモウセンゴケ (モウセンゴケ科)		
一般生態	本州（東海地方以西）に分布する。貧栄養湿地に生育する多年生の食虫植物。常緑であり、モウセンゴケのように休眠芽は形成しないことから、霜が降らないような場所でしか生育することができない。花はピンク色で、花期は7～8月。	
確認状況	瑞浪市、可児市において合計6地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪市においては、夏季調査時に合計1地点20個体が確認された。確認された1地点20個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計5地点100個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点50個体、相当離れた地域で4地点100個体以上確認された。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲の近傍、5地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、生育環境は保全されると予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(13) 重要な種の予測結果

シラヒゲソウ (ユキノシタ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。山地谷沿いの湿地に生える多年草。花期は8～9月。花茎は高さ10～30cm、茎頂に直径2～2.5cmの白色花を1個つける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・恵那市において秋季調査時に合計1地点100個体以上が確認された。確認された1地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (14) 重要な種の予測結果

ユクノキ (マメ科)		
一般生態	本州（富士・箱根を除く関東地方西部～富山県以西）、四国、九州に分布する。山地に生える落葉高木。花期は6～8月。葉はふつう奇数羽状複葉で小葉は互生する。葉の裏は粉白色を帯びる。	
確認状況	中津川市、御嵩町、可児市において合計5地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、夏季調査時に合計1地点1個体が確認された。確認された1地点1個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・御嵩町においては、秋季調査時に合計1地点1個体が確認された。確認された1地点1個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、春季及び夏季調査時に合計3地点3個体が確認された。確認された3地点3個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された5地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (15) 重要な種の予測結果

イヌハギ (マメ科)		
一般生態	本州～琉球に分布する。川原や海に近い日当たりのよい砂地に生える半低木。花期は7～9月。全体に黄褐色の軟毛がある。花は帯黄白色。閉鎖花をよくつける。	
確認状況	・多治見市において秋季調査時に合計1地点20個体が確認された。確認された1地点20個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (16) 重要な種の予測結果

カキノハグサ (ヒメハギ科)		
一般生態	本州（東海地方以西）に分布する。山地の林内に生える多年草。花期は5～6月。花は橙色を帯びた黄色で長さ約2cm、茎頂に繖状につく。	
確認状況	御嵩町、可児市において合計5地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・御嵩町においては、秋季調査時に合計3地点22個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点4個体、相当離れた地域で2地点18個体確認された。 ・可児市においては、秋季調査時に合計2地点3個体が確認された。確認された2地点3個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲の近傍、4地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、生育環境は保全されると予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (17) 重要な種の予測結果

ハナノキ (カエデ科)		
一般生態	本州（長野県、愛知県、岐阜県）に分布する。山地の川岸等湿った所に生える落葉高木。花期は 4 月。葉は広卵形で浅く 3 裂する。裏面は粉白色。花は紅色。	
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市において合計 75 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、早春季、春季、夏季及び秋季調査時に合計 44 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 6 地点 9 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 5 地点 5 個体、相当離れた地域で 33 地点 96 個体確認された。 ・恵那市においては、早春季、春季、夏季及び秋季調査時に合計 8 地点 12 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 1 個体、相当離れた地域で 7 地点 11 個体確認された。 ・瑞浪市においては、早春季調査時に合計 2 地点 2 個体が確認された。確認された 2 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・御嵩町においては、早春、春季、夏季及び秋季調査時に合計 17 地点 29 個体が確認された。確認された 17 地点 29 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、春季及び秋季調査時に合計 2 地点 6 個体が確認された。確認された 2 地点 6 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・多治見市においては、早春季調査時に合計 2 地点 2 個体が確認された。確認された 2 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 6 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市千旦林地区（6 地点）において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 ・その他、本種が確認された 6 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、63 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、中津川市千旦林地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(18) 重要な種の予測結果

ミズマツバ (ミソハギ科)	
一般生態	本州 (中南部)、四国、九州の水田や湿地に生える高さ 3~10 cm の 1 年草。花期は 8~10 月。名は 3~4 個ずつ輪生した葉を松の葉に例えたもの。
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市において合計 23 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、夏季及び秋季調査時に合計 13 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 10 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 2 地点 25 個体、相当離れた地域で 10 地点 100 個体以上確認された。 ・恵那市においては、秋季調査時に合計 3 地点 13 個体が確認された。確認された 3 地点 13 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・瑞浪市においては、秋季調査時に合計 3 地点 21 個体が確認された。確認された 3 地点 21 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・御嵩町においては、夏季調査時に合計 1 地点 100 個体以上が確認された。確認された 1 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、秋季調査時に合計 2 地点 20 個体が確認された。確認された 2 地点 20 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・多治見市においては、秋季調査時に合計 1 地点 8 個体が確認された。確認された 1 地点 8 個体は改変の可能性のある範囲であった。
予測結果	<p>工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 2 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市山口地区 (1 地点)、多治見市西山町・大針町地区 (1 地点) において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 ・その他、本種が確認された 2 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、19 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、中津川市山口地区、多治見市西山町・大針町地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があることと予測する。
	<p>土地又は工作物の存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(19) 重要な種の予測結果

タチモ (アリノトウグサ科)	
一般生態	全国の貧栄養の湖沼やため池の浅水中又は水辺に生育する多年生の沈水~抽水~湿生植物。花期は 6~9 月。雌雄異株で、水中と陸上で顕著な異形葉を示す両生植物である。
確認状況	<p>中津川市、可児市において合計 2 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、夏季調査時に合計 1 地点 100 個体が確認された。確認された 1 地点 100 個体は改変の可能性のある範囲の近傍であった。 ・可児市においては、夏季調査時に合計 1 地点 (広範囲での疎生) が確認された。確認された 1 地点 (広範囲での疎生) は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。
予測結果	<p>工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、1 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、生育環境は保全されると予測する。
	<p>土地又は工作物の存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (20) 重要な種の予測結果

イブキボウフウ (セリ科)	
一般生態	北海道と本州（近畿地方以北）の草地に生える高さ 30～90 cm の多年草。花期は 8～9 月。全草有毛で、茎はよく分枝する。葉は 2～3 回 3 出複葉で、小葉は細かく裂ける。
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可児市において、春季及び夏季調査時に 4 地点 82 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 50 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 3 個体、相当離れた地域で 2 地点 29 個体確認された。
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、可児市久々利地区（1 地点）において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 ・ その他、本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、2 地点は相当離れた範囲であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・ また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・ したがって、可児市久々利地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があると予測する。
	土地又は工作物の存在 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (21) 重要な種の予測結果

ウスギヨウラク (ツツジ科)	
一般生態	本州（山梨・長野県以西）、四国（徳島県）の山地の林縁や岩陰に生える、高さ 1～2m の落葉低木。花期は 4～6 月。枝先に黄緑白色の花が 1～8 個集まってつく。
確認状況	中津川市、御嵩町、可児市において合計 18 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中津川市においては、早春季調査時に合計 2 地点 4 個体が確認された。確認された 2 地点 4 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・ 御嵩町においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 11 地点 100 個体以上が確認された。確認された 11 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・ 可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計 5 地点 23 個体が確認された。確認された 5 地点 23 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本種が確認された 18 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (22) 重要な種の予測結果

レンゲツツジ (ツツジ科)		
一般生態	本州、四国、九州の丘陵から亜高山帯下部の草原や林縁に生える落葉低木。花期は5～7月上旬で、葉の展葉と同時に開花する。有毒植物で家畜が食べないため、放牧地等にも多い。	
確認状況	・中津川市において春季調査時に合計1地点1個体が確認された。確認された1地点1個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (23) 重要な種の予測結果

ヒトツバタゴ (モクセイ科)		
一般生態	本州（長野・岐阜・愛知県）と九州（長崎県対馬）の丘陵地のやや湿った林内に生える落葉高木。花期は5月。新枝の先に円錐花序を出し、白い花を多数つける。雌雄異株で、高さ30m、胸高直径70cmに達する。	
確認状況	・可児市において春季、夏季及び秋季調査時に6地点8個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点2個体、相当離れた地域で5地点6個体確認された。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された1地点は、改変の可能性のある範囲の近傍、5地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、生育環境は保全されると予測する。
	土地又は工作物の存在	・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (24) 重要な種の予測結果

イヌセンブリ (リンドウ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。湿地に生える1～2年草。花期は10～11月。花は白色で淡紫色のすじがある。	
確認状況	・瑞浪市において秋季調査時に合計1地点12個体が確認された。確認された1地点12個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (25) 重要な種の予測結果

スズサイコ (ガガイモ科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州の日当たりのよいやや乾いた草地に生える多年草。花期は 7～8 月。茎の先や上部の葉腋から花序を出し、直径 1～2 cm の黄褐色の花をまばらにつける。	
確認状況	中津川市、恵那市、瑞浪市、可児市において合計 9 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、夏季調査時に合計 4 地点 47 個体が確認された。確認された 4 地点 47 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・恵那市においては、夏季調査時に合計 2 地点 11 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 10 個体、相当離れた地域で 1 地点 1 個体確認された。 ・瑞浪市においては、夏季及び秋季調査時に合計 2 地点 6 個体が確認された。確認された 2 地点 6 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、春季調査時に合計 1 地点 5 個体が確認された。確認された 1 地点 5 個体は改変の可能性のある範囲であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、可児市久々利地区 (1 地点) において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 ・その他、本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、7 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、可児市久々利地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があると予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (26) 重要な種の予測結果

ミズトラノオ (シソ科)		
一般生態	本州、四国、九州の湿地に生える高さ 30～50 cm の多年草。花期は 8～10 月。葉は 3～4 個ずつ輪生し、地下茎を長く伸ばして増える。茎の先に長さ 2～8 cm の花穂をだし、淡紅色の花を密生する。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中津川市において、夏季調査時に 1 地点 50 個体が確認された。確認された 1 地点 50 個体は改変の可能性のある範囲であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であり、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、生育環境の一部は保全されない可能性があると予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (27) 重要な種の予測結果

スズメハコベ (ゴマノハグサ科)		
一般生態	本州 (関東以西)、四国、九州、沖縄の湿地に生える小さな1年草。花期は7~10月。茎は細長く長さ5~20cm。葉は小さく長さ2~5mm、幅1~2mm。葉腋に小さな花をつける。	
確認状況	中津川市、恵那市、可児市において合計11地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、秋季調査時に合計8地点100個体以上が確認された。確認された8地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・恵那市においては、秋季調査時に合計1地点1個体が確認された。確認された1地点1個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計2地点100個体以上が確認された。確認された2地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された11地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (28) 重要な種の予測結果

ミカワシオガマ (ゴマノハグサ科)		
一般生態	本州 (中部地方の伊勢湾に面した地域) に分布する。丘陵帯の丘陵山間部にある日当たりの良い湿地や林縁に生える多年草。花期は10月。高さ40cm。花は紅紫色。	
確認状況	恵那市、瑞浪市において合計3地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市においては、秋季調査時に合計2地点100個体以上が確認された。確認された2地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・瑞浪市においては、秋季調査時に合計1地点3個体が確認された。確認された1地点3個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された3地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (29) 重要な種の予測結果

オオヒキヨモギ (ゴマノハグサ科)		
一般生態	本州 (関東地方以西)、四国に分布する。丘陵帯の低地の乾燥した草地に生育する多年草。花期は 8~9 月。高さ 30~70cm、花は黄色で長さ 3cm 程度。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可児市において秋季調査時に合計 2 地点 13 個体が確認された。確認された 2 地点 13 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本種が確認された 2 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (30) 重要な種の予測結果

イワタバコ (イワタバコ科)		
一般生態	本州 (福島県以西)、四国、九州のいつも水がしみ出ているような日陰の岩場に生える多年草。花期は 6~8 月。葉は短い根茎から 1~2 個でて、長さ 10~30 cm、幅 5~15 cm の楕円状倒卵形で表面にしわが多い。	
確認状況	<p>中津川市、御嵩町、可児市において合計 8 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中津川市においては、早春季及び夏季調査時に合計 4 地点 73 個体が確認された。確認された 4 地点 73 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・ 御嵩町においては、春季及び秋季調査時に合計 2 地点 100 個体以上が確認された。確認された 2 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・ 可児市においては、早春季及び秋季調査時に合計 2 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 100 個体、相当離れた地域で 1 地点 100 個体確認された。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、7 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・ また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・ したがって、生育環境は保全されると予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (31) 重要な種の予測結果

ミミカキグサ (タヌキモ科)	
一般生態	本州、四国、九州、沖縄の湿地に生える多年生の食虫植物。花期は8～10月。地中に白い糸状の地下茎をのばし、小さな捕虫囊をつける。花茎は高さ5～15 cmになり、上部に直径約5 mmの黄色の花を数個つける。
確認状況	<p>中津川市、瑞浪市、可児市、多治見市において合計22地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、夏季及び秋季調査時に合計12地点100個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で3地点100個体以上、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点30個体、相当離れた地域で8地点100個体以上確認された。 ・瑞浪市においては、夏季調査時に合計1地点5個体を確認された。確認された1地点5個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計7地点100個体以上が確認された。確認された7地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・多治見市においては、夏季調査時に合計2地点100個体以上が確認された。確認された2地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。
予測結果	<p>工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された3地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により中津川市千旦林地区(2地点)、茄子川地区(1地点)において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 ・その他、本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲の近傍、18地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、中津川市千旦林地区、茄子川地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。
	<p>土地又は工作物の存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (32) 重要な種の予測結果

ホザキノミミカキグサ (タヌキモ科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州の湿地に生える多年生の食虫植物。花期は 6～9 月。地下茎に捕虫囊をつけるが、数は少ない。花茎は高さ 10～30 cm になり、上部に直径約 4 mm の紅紫色の花をつける。	
確認状況	中津川市、瑞浪市、可児市、多治見市において合計 12 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 5 地点 65 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 9 個体、相当離れた地域で 4 地点 56 個体確認された。 ・瑞浪市においては、夏季調査時に合計 1 地点 3 個体が確認された。確認された 1 地点 3 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、秋季調査時に合計 5 地点 100 個体以上が確認された。確認された 5 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・多治見市においては、夏季調査時に合計 1 地点 70 個体が確認された。確認された 1 地点 70 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により中津川市茄子川地区 (1 地点) において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 ・その他、本種が確認された 11 地点は相当離れた地域であるため、生育環境の変化は生じない。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、中津川市茄子川地区において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (33) 重要な種の予測結果

ムラサキミミカキグサ (タヌキモ科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州の湿地に生える多年生の食虫植物。花期は 8～9 月。地下茎にまばらに捕虫囊をつける。花茎は高さ 5～15 cm になり、上部に直径 3～4 mm の淡紫色の花を 1～4 個つける。花茎には鱗片状の葉が数個つく。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・可児市において夏季調査時に合計 1 地点 10 個体が確認された。確認された 1 地点 10 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (34) 重要な種の予測結果

キキョウ (キキョウ科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州の日当たりのよい草地に生える、高さ 0.5～1 mの多年草。花期は 7～9 月。葉は互生し、長さ 4～7 cmの狭卵形で鋭い鋸歯がある。茎の先に青紫色の花が数個つく。	
確認状況	中津川市、瑞浪市において合計 7 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> 中津川市においては、夏季及び秋季調査時に合計 6 地点 31 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 5 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 1 個体、相当離れた地域で 4 地点 25 個体確認された。 瑞浪市においては、秋季調査時に合計 1 地点 2 個体が確認された。確認された 1 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により中津川市千旦林地区 (1 地点) において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 その他、本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲の近傍 5 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 したがって、中津川市千旦林地区の一部地域において、生育環境は保全されない可能性があるとして予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (35) 重要な種の予測結果

ヒダアザミ (キク科)		
一般生態	岐阜県に分布する。山地帯の落葉広葉樹林の林床に生育する多年草。花期は 9 月～10 月。高さ 15～50cm。花は赤紫色。	
確認状況	瑞浪市において秋季調査時に合計 7 地点 100 個体以上が確認された。確認された 7 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された 7 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (36) 重要な種の予測結果

サワギク (キク科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州の山地のやや湿り気のある林内に生える、高さ0.6~1mの多年草。花期は6~8月。葉はまばらに互生し、薄くて羽状に全裂する。頭花は黄色で枝先にやや散状に多数つく。	
確認状況	中津川市、御嵩町において合計2地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> 中津川市においては、夏季調査時に合計1地点3個体が確認された。確認された1地点3個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 御嵩町においては、春季調査時に合計1地点1個体が確認された。確認された1地点1個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された2地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (37) 重要な種の予測結果

アギナシ (オモダカ科)		
一般生態	全国の湖沼やため池、水田、湿地等に生育する抽水性~湿生の多年草。花期は7~10月。類似種のオモダカと異なり、本種は山間の池沼や湿原等、より自然度の高い環境に生育する。	
確認状況	中津川市、恵那市において合計5地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> 中津川市においては、夏季及び秋季調査時に合計4地点100個体以上が確認された。確認された4地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 恵那市においては、秋季調査時に合計1地点2個体が確認された。確認された1地点2個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された5地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (38) 重要な種の予測結果

ホトトギス (ユリ科)		
一般生態	北海道(西南部)、本州、四国、九州に分布する。山地の崖等やや湿ったところに生える多年草。花期は、8~9月。花は葉腋につき、長さは約2.5cm、内側に紅紫色の斑点が多数つく。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> 御嵩町において秋季調査時に合計1地点100個体が確認された。確認された1地点100個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (39) 重要な種の予測結果

ミカワバイケイソウ (ユリ科)		
一般生態	愛知県と長野県に分布する。山地から亜高山帯の湿原に群生する。コバイケイソウの変種。花期は、5月。葉が細く、花は小型。花被片はふちに細かい切れ込みがあり、雄しべより短い。	
確認状況	中津川市、恵那市、御嵩町において合計 21 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、春季及び夏季調査時に合計 3 地点 74 個体が確認された。確認された 3 地点 74 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・恵那市においては、春季及び夏季調査時に合計 15 地点 100 個体以上が確認された。確認された 15 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・御嵩町においては、春季調査時に合計 3 地点 100 個体以上が確認された。確認された 3 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 21 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・本種の多くは、不透水層を伴った湿地環境に生育していると考えられるため、地下水位の変化による生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (40) 重要な種の予測結果

ツクシクロイヌノヒゲ (ホシクサ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。干上がったため池の岸に生育する 1 年草。花期は 9～10 月。花茎は少数のものから 50 本以上出るものまであり、中央のものが最も長くて高さ 8～20cm、基部に 3～6.5cm の鞘があり、先端に 1 個の頭花をつける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・可児市において秋季調査時に合計 1 地点(群生)が確認された。確認された 1 地点(群生)は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (41) 重要な種の予測結果

シラタマホシクサ (ホシクサ科)		
一般生態	本州(静岡・愛知・三重・岐阜県)に分布する。伊勢湾沿岸の湿地にだけ生える 1 年草。花期は、8～10 月。花茎はややねじれ、高さ 20～40cm になる。頭花に白い毛が多く、白い球のようなのでつけられた。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中津川市において秋季調査時に合計 1 地点 20 個体が確認された。確認された 1 地点 20 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (42) 重要な種の予測結果

クロホシクサ (ホシクサ科)	
一般生態	本州 (関東地方・富山県以西)、四国、九州、沖縄に分布する。湿地に生える 1 年草。花期は 8~9 月。花茎はややねじれ、高さ 10~20cm になり藍黒色の頭花をつける。
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> 中津川市において、秋季調査時に 1 地点 100 個体以上が確認された。確認された 1 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲であった。
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であり、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 したがって、生育環境の一部は保全されない可能性があると予測する。
	土地又は工作物の存在 <ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (43) 重要な種の予測結果

ヒメコヌカグサ (イネ科)	
一般生態	本州(関東以西)、四国、九州に分布する。山の水湿地にまれに生える多年草。花期は、5~6 月。小穂は長さ 2.5~3mm、淡緑色で、しばしば赤紫色に染まり、1 小花からなって小花は熟すと包えいを残して散る。
確認状況	<p>中津川市、恵那市、可児市において合計 6 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中津川市においては、春季調査時に合計 2 地点 35 個体を確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 5 個体、相当離れた地域で 1 地点 30 個体確認された。 恵那市においては、春季調査時に合計 2 地点 100 個体以上が確認された。確認された 2 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 可児市においては、春季調査時に合計 2 地点 23 個体を確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 20 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 3 個体確認された。
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により可児市久々利地区 (1 地点) において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 その他、本種が確認された 2 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、3 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 したがって、可児市久々利地区は、生育環境の一部は保全されない可能性があると予測する。
	土地又は工作物の存在 <ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(44) 重要な種の予測結果

ヒナザサ (イネ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。山野の水辺や湿地にまれに見られる1年草。花期は8~10月。円錐花序は長さ1.5~3cm、まばらに数本の枝を分け、わずかに4~25個ほどの小穂からなって、中軸も枝も平滑。	
確認状況	・可児市において秋季調査時に合計2地点100個体以上が確認された。確認された2地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された2地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(45) 重要な種の予測結果

ウンヌケモドキ (イネ科)		
一般生態	本州中部地方、九州に分布する。低山草原上に生える多年草。花期は9~11月。花序は3~7個の総からなり、総は斜めに立って、長さ6~12cm。小穂は長さ5~6mm。	
確認状況	・可児市において秋季調査時に合計2地点11個体を確認された。確認された2地点11個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された2地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(46) 重要な種の予測結果

ウンヌケ (イネ科)		
一般生態	本州中部地方、九州に分布する。低山草原上に生える多年草。花期は9~10月。花序は4~9個の総からなり、総は直立又は軽く外側に反り、長さ10~15cm。黄褐色の短毛を密生する。	
確認状況	・可児市において秋季調査時に合計8地点24個体を確認された。確認された8地点24個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された8地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(47) 重要な種の予測結果

ウラシマソウ (サトイモ科)		
一般生態	北海道 (南部)、本州、四国 (東部)、九州に分布する。山野の木陰に生える多年草。花期は3~5月。葉柄の基部から花茎を出し、葉の陰に紫褐色の仏炎苞に包まれた肉穂花序をつける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可児市において春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(48) 重要な種の予測結果

ヒメミクリ (ミクリ科)		
一般生態	全国の湖沼、ため池、湿原等に生育する多年生の抽水~湿生植物。花期は6~9月。果実は長さ4~5mm、幅2~3mm、倒卵形で、先端は長さ1~2mmの嘴を除けばドーム状に低く盛り上がった形である。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中津川市において、夏季調査時に2地点70個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点20個体、相当離れた地域で1地点50個体確認された。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲の近傍、1地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。 ・ また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・ したがって、生育環境は保全されると予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11(49) 重要な種の予測結果

ムギラン (ラン科)		
一般生態	本州 (関東地方以西、四国、九州) に分布する。常緑樹林内の樹幹や岩上に着生する常緑の多年草。花期は6~7月で、黄白色の花を1個つける。	
確認状況	<p>中津川市、瑞浪市において合計3地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中津川市においては、夏季調査時に合計2地点100個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点100個体以上、相当離れた地域で1地点100個体以上確認された。 ・ 瑞浪市においては、早春季調査時に合計1地点(カヤに着床)が確認された。確認された1地点(カヤに着床)は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲の近傍、2地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布すると考えられることから、生育環境は保全される。 ・ したがって、生育環境は保全されると予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (50) 重要な種の予測結果

エビネ (ラン科)		
一般生態	北海道 (西南部)、本州、四国、沖縄に分布する。山野の落葉樹林内に生える多年草。花期は 4~5 月。花茎は高さ 30~50cm で、多数の花が総状につく。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可児市において秋季調査時に合計 1 地点 6 個体が確認された。確認された 1 地点 6 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (51) 重要な種の予測結果

キンラン (ラン科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。落葉樹林内に生える多年草。花期は 4~6 月。茎は高さ 30~70cm で、茎頂に直径約 1cm の鮮黄色の花を 3~12 個つける。	
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市において合計 14 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中津川市においては、春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲の近傍であった。 ・ 恵那市においては、春季調査時に合計 1 地点 2 個体が確認された。確認された 1 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・ 瑞浪市においては、春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・ 御嵩町においては、秋季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・ 可児市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 9 地点 19 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 5 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 2 地点 2 個体、相当離れた地域で 6 地点 12 個体確認された。 ・ 多治見市においては、春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により可児市久々利地区 (1 地点) において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 ・ その他、本種が確認された 3 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、10 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布すると考えられることから、生育環境は保全される。 ・ また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・ したがって、可児市久々利地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (52) 重要な種の予測結果

セッコク (ラン科)		
一般生態	本州、四国、九州、沖縄に分布する。樹上や岩上に多数の根をだし着生する多年草。花期は5～6月。葉の落ちた節から細い花茎を出し、白色～淡紅色の花を1～2個つける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> 中津川市において夏季調査時に合計1地点3個体が確認された。確認された1地点3個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (53) 重要な種の予測結果

ミヤマウズラ (ラン科)		
一般生態	北海道(中部)、本州、四国、九州に分布する。山地の林内に生える多年草。花期は8～9月。花茎は高さ約15cmで、綿毛を密生し、一方にかたよった穂状に5～10個の淡紅色花をつける。	
確認状況	<p>中津川市、恵那市、御嵩町、可児市、多治見市において合計6地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中津川市においては、夏季調査時に合計2地点18個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点10個体、相当離れた地域で1地点8個体確認された。 恵那市においては、秋季調査時に合計1地点6個体が確認された。確認された1地点6個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 御嵩町においては、秋季調査時に合計1地点9個体が確認された。確認された1地点9個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 可児市においては、夏季調査時に合計1地点2個体が確認された。確認された1地点2個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 多治見市においては、秋季調査時に合計1地点30個体が確認された。確認された1地点30個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲の近傍、5地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布すると考えられることから、生育環境は保全される。 また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 したがって、生育環境は保全されると予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じない。

表 8-4-2-11 (54) 重要な種の予測結果

サギソウ (ラン科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。山野の日当たりのよい湿原に生える高さ15~40cmの多年草。花期は8月で、花は1~4個つき、白色で直径約3cm。	
確認状況	中津川市、恵那市、瑞浪市、可児市において合計7地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、夏季調査時に合計2地点7個体が確認された。確認された2地点7個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・恵那市においては、夏季調査時に合計2地点40個体が確認された。確認された2地点40個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・瑞浪市においては、夏季調査時に合計1地点6個体が確認された。確認された1地点6個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、夏季調査時に合計2地点6個体が確認された。確認された2地点6個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された7地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (55) 重要な種の予測結果

ジガバチソウ (ラン科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州に分布する。クリ帯からブナ帯の疎林の中に生える多年草。花期は5~7月。花茎は高さ8~20cmで、花はふつう暗紫色、ときに淡緑色をおびる。	
確認状況	中津川市、御嵩町において合計3地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、春季及び夏季調査時に合計2地点2個体が確認された。確認された2地点2個体は相当離れた地域であった。 ・御嵩町においては、秋季調査時に合計1地点1個体が確認された。確認された1地点1個体は相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された3地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (56) 重要な種の予測結果

クモキリソウ (ラン科)		
一般生態	日本全土に分布する。林内に生える多年草。花期は6～8月。花茎は高さ10～20cmで、5～15個の花をつける。	
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市において合計38地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中津川市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計26地点99個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で2地点5個体、相当離れた地域で24地点94個体確認された。 恵那市においては、春季及び秋季調査時に合計2地点2個体が確認された。確認された2地点2個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 瑞浪市においては、夏季及び秋季調査時に合計2地点14個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点1個体、相当離れた地域で1地点13個体確認された。 御嵩町においては、夏季及び秋季調査時に合計2地点2個体が確認された。確認された2地点2個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 可児市においては、秋季調査時に合計4地点12個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で2地点10個体、相当離れた地域で2地点2個体確認された。 多治見市においては、夏季及び秋季調査時に合計2地点13個体が確認された。確認された2地点13個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された5地点は改変の可能性のある範囲の近傍、33地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布すると考えられることから、生育環境は保全される。 また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 したがって、生育環境は保全されると予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (57) 重要な種の予測結果

ヨウラクラン (ラン科)		
一般生態	本州(宮城県以南)、四国、九州、沖縄に分布する。樹幹や岩上に着生する小型の多年草。花期は4～6月。茎は長さ1～4cmで束生し、茎頂に長さ3～8cmの花序をつけ、淡黄褐色の直径1ミリほどの小さな花を総状に多数つける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> 中津川市において夏季調査時に合計1地点20個体が確認された。確認された1地点20個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-11 (58) 重要な種の予測結果

カヤラン (ラン科)		
一般生態	本州 (岩手県以南)、四国、九州に分布する。基部から多数の根をだし、樹幹に着生する常緑性の多年草。花期は4~5月。葉腋から細い花茎を出し、数個の黄色花を総状につける。	
確認状況	中津川市、瑞浪市、可児市において合計3地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市においては、夏季調査時に合計1地点50個体が確認された。確認された1地点50個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・瑞浪市においては、春季調査時に合計1地点6個体(ウメに着床)が確認された。確認された1地点6個体(ウメに着床)は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 ・可児市においては、春季調査時に合計1地点1個体が確認された。確認された1地点1個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。 	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本種が確認された3地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	土地又は工作物の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、土地又は工作物の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

1) 文献でのみ記載がある重要な種及び群落の生育環境への影響

文献調査において対象事業実施区域及びその周囲に生育する可能性があると考えられる重要な種の内、現地調査で確認されなかった重要な種は139種であった。また、重要な群落は確認されなかった。

工事の実施(切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置)又は鉄道施設(トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設)の存在により、重要な種の生育環境の一部が消失、縮小する可能性が考えられるが、周辺に同質の生育環境が広く分布すること、工事に伴う排水は必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから生育環境の消失、縮小は一部に留められる。また、対象事業実施区域及びその周囲の多くの植物は雨水起源の土壌水で生育していると考えられるため、地下水位の変化による生育環境への影響は及ばない。

したがって、事業の実施による影響の程度はわずかであり、重要な種の生育環境は保全されると予測する。

2) 環境保全措置の検討

ア. 環境保全措置の検討の状況

本事業では、計画の立案の段階において、植物に係る環境影響を回避又は低減するため「重要な種の生育環境の全体又は一部を回避」、「工事に伴う改変区域をできる限り小さくする」、「重要な種の生育環境の創出」、「重要な種の移植・播種」、「汚濁処理施設及び仮設沈砂池の設置」及び「工事従事者への講習・指導」について検討した。さらに、事業者により実行可能な範囲内で、工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置）及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在による植物に係る環境影響を回避又は低減することを目的として、環境保全措置の検討を行った。

環境保全措置の検討の状況を表 8-4-2-12 に示す。

表 8-4-2-12 環境保全措置の検討の状況

環境保全措置	保全対象種	実施の適否	適否の理由
重要な種の生育環境の全体又は一部を回避	サクラバハンノキ、カザグルマ、ハナノキ、ミズマツバ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ	適	重要な種の生育環境の全体又は一部を回避することで、影響を回避、低減できることから、環境保全措置として採用する。
工事に伴う改変区域をできる限り小さくする	保全対象種全般	適	生育環境の改変をできる限り小さくすることで、重要な種への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。
重要な種の生育環境の創出	ミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ	適	重要な種の生育環境を創出することにより、重要な種の生育環境を代償できることから、環境保全措置として採用する。
重要な種の移植・播種	サクラバハンノキ、カザグルマ、ハナノキ、ミズマツバ、イブキボウフウ、スズサイコ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ、ヒメコヌカグサ、キンラン	適	重要な種を移植・播種することで、種の消失による影響を代償できることから、環境保全措置として採用する。
汚濁処理施設及び仮設沈砂池の設置	サクラバハンノキ、カザグルマ、ハナノキ、ミズマツバ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、クロホシクサ、ヒメコヌカグサ	適	汚濁処理施設及び仮設沈砂池の設置により汚濁水の発生が抑えられ、また、排水の水温を下げることで、水辺の植物等の生育環境への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。
工事従事者への講習・指導	保全対象種全般	適	工事区域外への不必要な立ち入り等を制限することで、踏みつけ等による重要な種への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。

イ. 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容

本事業では、工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置）及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在による植物に係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「重要な種の生育環境の全体又は一部を回避」、「工事に伴う改変区域をできる限り小さくする」、「重要な種の生育環境の創出」、「重要な種の移植・播種」、「汚濁処理施設及び仮設沈砂池の設置」及び「工事従事者への講習・指導」を実施する。

環境保全措置の内容を表 8-4-2-13 に示す。

表 8-4-2-13 (1) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	重要な種の生育環境の全体又は一部を回避
	保全対象種	サクラバハシノキ、カザグルマ、ハナノキ、ミズマツバ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ
	時期・期間	計画時
環境保全措置の効果	重要な種の全体又は一部を回避することで、影響を回避又は低減できる。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-13 (2) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	工事に伴う改変区域をできる限り小さくする
	保全対象種	保全対象種全般
	時期・期間	計画時
環境保全措置の効果	生育環境の改変をできる限り小さくすることで、重要な種への影響を回避又は低減できる	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-13 (3) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	重要な種の生育環境の創出
	保全対象種	ミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ
	時期・期間	工事前
環境保全措置の効果	車両基地の位置や形状の観点から、そこに生育する重要な種の一部は、やむを得ず消失することとなるため、代償措置として、消失する環境の近傍においては、湿地、草地、水の流れ及びたまり場を確保するとともに、水際には在来種の湿生植物を植栽した生育環境を創出することで、重要な種への影響を代償することができる。なお、生育環境の創出は、専門家の助言を得ながら行うことで、効果が期待できる。	
効果の不確実性	あり	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-13 (4) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	重要な種の移植・播種
	保全対象種	サクラバハンノキ、カザグルマ、ハナノキ、ミズマツバ、イブキボウフウ、スズサイコ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ、ヒメコヌカグサ、キンラン
	時期・期間	工事前
環境保全措置の効果	鉄道施設（非常口（山岳部）、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の位置や形状の観点から、そこに生育する重要な種の一部は、やむを得ず消失することとなるため、代償措置として、消失する環境の近傍において、消失する環境に類似した環境（植生、光及び水分等の条件）を持つ場所へ移植を行うことで、重要な種への影響を代償することができる。なお、重要な種の移植は、専門家の助言を得ながら行うことで、効果が期待できる。	
効果の不確実性	あり	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-13 (5) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	汚濁処理施設及び仮設沈砂池の設置
	保全対象種	サクラバハンノキ、カザグルマ、ハナノキ、ミズマツバ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、クロホシクサ、ヒメコヌカグサ
	時期・期間	工事中
環境保全措置の効果	汚濁処理施設及び仮設沈砂池の設置により汚濁水の発生が抑えられ、また、排水の水温を下げることで、水辺の植物等の生育環境への影響を低減できる	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-13 (6) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	工事従事者への講習・指導
	保全対象種	保全対象種全般
	時期・期間	工事中
環境保全措置の効果	工事区域外への不必要な立ち入り等を制限することで、踏みつけ等による重要な種への影響を低減できる	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	なし	

ウ. 環境保全措置の効果及び当該環境保全措置を講じた後の環境の変化の状況

環境保全措置の効果を表 8-4-2-13 に示す。環境保全措置を実施することで、植物への影響は、回避又は低減される。

3) 事後調査

ア. 事後調査を行うこととした理由

本事業の実施による植物への影響は、環境保全措置を実施することにより影響を低減できるものと予測する。

しかし、一部の環境保全措置の効果に不確実性があることから、環境影響評価法に基づく事後調査を実施する。

イ. 事後調査の項目及び手法

実施する事後調査の内容を表 8-4-2-14 に示す。

なお、事後調査は、専門家の助言等を踏まえた調査内容に基づき実施する。

表 8-4-2-14 事後調査の概要

調査項目	調査内容	実施主体
創出した生育環境の状況	○調査時期・期間 各種の生活史及び生育特性等に応じて設定 ○調査地域・地点 対象種について創出した生育環境地 ○調査方法 現地調査（任意観察）による確認	東海旅客鉄道株式会社
移植・播種した植物の生育状況	○調査時期・期間 各種の生活史及び生育特性等に応じて設定 ○調査地域・地点 移植・播種を講じた植物の移植先生育地 ○調査方法 現地調査（任意観察）による確認	東海旅客鉄道株式会社

ウ. 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応の方針

事後調査の結果について、環境影響の程度が著しいと判明した場合は、その原因の解明に努めるとともに改善を図るものとする。

エ. 事後調査の結果の公表方法

事後調査の結果の公表は、原則として事業者が行うものとするが、公表時期・方法等は、関係機関と連携しつつ適切に実施するものとする。

4) 評価

ア. 評価の手法

7) 回避又は低減に係る評価

調査・予測結果及び環境保全措置の検討を行った結果について、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減がなされているか、見解を明らかにすることにより行った。

イ. 評価結果

7) 回避又は低減に係る評価

計画路線は、計画段階において、大部分をトンネル構造にする等して、改変面積を極力小さくする計画とし、植物への影響の回避又は低減を図っている。

一部の種は、保全されない可能性があるとして予測されたが、重要な種の生育環境の創出、重要な種の移植・播種及び工事従事者への講習・指導等の環境保全措置を実施することで、影響の回避又は低減に努める。

なお、重要な種の生育環境の創出、重要な種の移植・播種は、環境保全措置の効果に不確実性が生じるため、事後調査を実施する。また、予測し得ない影響が生じた場合は、専門家の助言等を踏まえて、別途対策を検討する。

このことから、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減が図られていると評価する。